

### 第40番 観自在寺

●愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城2253-1  
☎0895-72-0416  
●宿坊／あり(素泊りのみ、要予約)

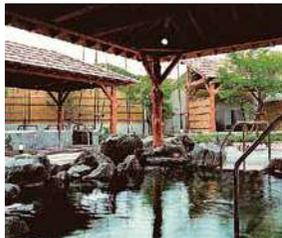


### 第41番 龍光寺

●愛媛県宇和島市三間戸戸雁173  
☎0895-58-2186  
●宿坊／なし



#### 沿線の見どころ



#### 津島やすらぎの里 熱田温泉

良質な湯に浸かれる「熱田温泉」。檜風呂を備えた「白鷺の湯」と岩風呂を備えた「菖蒲の湯」、露天風呂やサウナ、寝湯、ジェットバスなどが揃っており、家族風呂もある。温水を利用したプール、温泉を利用したジャグジーや歩行浴も併設。玄関前の足湯は自由に利用できるので、気軽に疲れを癒やそう。

所 愛媛県宇和島市津島町高田甲830-1  
☎ 0895-20-8181  
時 10:00～22:00(札止21:30)  
休 第1-3日曜(祝日の場合は翌日)  
料 大人650円



#### 沿線の見どころ



#### 宇和島城

築城の名手として知られる藤堂高虎が手がけたとされる、伊達氏十萬石の城下町のシンボル。本丸や二之丸がある城山6年(1666)頃に再建された天守は現存12天守の一つ。その秀麗な造りから、鶴島城とも呼ばれている。天守への入場は9時～17時(10月～3月は16時まで)。

所 愛媛県宇和島市丸ノ内1  
☎ 0895-22-2832  
時 6:00～18:30(10～3月は～17:00)  
休 無休  
料 天守大人200円



#### 境内の見どころ



#### 仁王門

火災などのため古い建物があまり残っていないが、威風堂々とした仁王門は約200年前に建立された総檜造りの門。天井にある十二支の方位盤は特に有名で、元禄2年(1689)の『寂本四国遍礼記』の中にも記されている。仁王像は下久家の大工の作で、額は高野山401世座主の筆によるものである。



境内には芭蕉の句碑や天竺ゆかりの松などもある

### 第40番

# 平城山 観自在寺

へいじょうざん やくしいん かんじざいじ

## 皇室や宇和島藩にゆかりのある寺

### 歴史・全体像

第51代平城天皇の勅願所として、大同2年(807)に弘法大師が開いた。本尊の薬師如来と脇仏の阿彌陀如来、十一面観音は、弘法大師が一本の霊木から作ったと伝えられている。全国各地、皇室から庶民まで、幅広い階層から信仰を集め、日本に4ヶ所しかない鎮守の一つでもあった。特に平城天皇、嵯峨天皇は親しく行幸され、御朱印を下し、一切経と大般若経を納められたという。寛永15年(1638)に、京都の空性(くうしょう)法親王が巡拝され、薬師院の号を受け、その後、宇和島藩主・伊達宗利の勅願所となった。第1番から最も遠いため「四国霊場の裏関所」といわれている。

### 境内

往時は七堂伽藍がそびえ、48坊の末寺を有する荘厳華麗な寺だった。しかし、火災によって本堂を全焼してしまったため、昭和39年(1964)に再建。創建当時の姿に復旧した。大師堂は平成5年(1993)に改築され、廻廊には四国八十八ヶ所霊場のお砂が敷き詰められている。その大師堂の周りを歩くと、四国霊場のお砂巡りができ、大師一代の尊像が礼拝できる。弘法大師が平城天皇の病氣平癒を願って般若心経の祈禱をしたという故事にちなんで建立された心経宝塔や、宝物を収納展示する宝聚殿八角堂などもある。



本堂は入母屋造りの堂々とした佇まい

御詠歌／しんがんやじざいの春に花さきてうき世のがれてすむやけどもの本尊／薬師如来  
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか  
宗派／真言宗大覚寺派  
開基／弘法大師



## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エスピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



# 「四国通路」巡礼マップ

第40番 観自在寺 第41番 龍光寺

50.2km ※赤い点線は通路道の一部です

## 《凡例》

- 弘法大師 公衆トイレ
- ゆかりの寺院 宿泊施設
- ゆかりの神社 運路小屋
- ゆかりの場所 休息所
- ファミリーストア 店舗・スーパー
- コンビニエンスストア コインランドリー
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校



- ### へんろみち周辺の宿泊施設の案内
- 1 愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合 089-931-0638
  - 2 愛南町観光協会 0895-73-0444
  - 3 宇和島市観光協会 0895-22-3934

### 第41番 龍光寺

●愛媛県宇和島市三間町戸雁173  
☎0895-58-2186  
●宿坊/なし



### 第42番 仏木寺

●愛媛県宇和島市三間町則1683  
☎0895-58-2216  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 宇和島市中山池自然公園

三間町にある108のため池のうち最大規模の中山池を中心に整備された公園。秋のコスモスなど四季折々の花が、訪れる人の目を楽しませてくれる。冬季に園内を彩る10万個の電球を使ったイルミネーションも人気。また三間町出身の彫刻家・故藤部吉人氏の石の彫刻作品が多数置かれ、14tもある巨大な「森の魚 クエ」は見もの。

☎ 愛媛県宇和島市三間町黒井地1550番地外  
☎ 0895-24-1111(宇和島市役所都市整備課)  
👁 見学自由  
🚫 無休  
💰 無料



#### 境内の見どころ



#### 稲荷神社

かつては札所だった稲荷神社の社殿。京都の稲荷大明神を迎えたと伝えられている。毎年3月の第1日曜には初午祭が行われ、「お稲荷さんの大祭」として親しまれている。以前は旧暦2月の最初の午の日に行われていたが、平成4年(1992)から現在の開催日に変更された。五穀豊穡や商売繁盛を祈願する人で大いに賑わう。



#### 境内の見どころ



#### 石の鳥居

ここには霊場によく見られる仁王門はなく、石の鳥居が山門となっている。初めて訪れた人の中には「ここはお寺?」と不思議に思う人も少なくない。石の鳥居をくぐると、遠く視線の先には本堂や大師堂へと導く階段と稲荷神社の赤い鳥居が見える。参道沿いには和菓子や柑橘類などを売る店がある。



本堂や大師堂が建つ境内。後方には稲荷神社がある

### 第41番

# 稲荷山 龍光寺

いなりざん ごこくいん りゅうこうじ

## 稲荷大明神が祀られている霊場

### 歴史・全体像

大同2年(807)、弘法大師はこの地で稲を背負った白髪の老人に出会った。老人は「われこの地に住み、法教を守護し、諸民を利益せん」と大師に告げて姿を消した。大師は老人を五穀大明神の化身であろうと考え、尊像を刻んで稲荷大明神として安置し、開基した。その後、農家の守り神として信仰を集めたが、明治元年の神仏分離令により、旧本堂を稲荷神社の社殿にし、新しく本堂を建立。本尊は十一面観世音菩薩に変わり、脇士の不動明王・毘沙門天の傍らに大師勧請の稲荷大明神が祀られている。もとの本尊が稲荷大明神であったため、地元では「三間のお稲荷さん」の愛称で親しまれている。

### 境内

石の鳥居が山門となっている珍しい寺。鳥居をくぐり、石段を50段ほど上がると狛犬に迎えられるが、これも鳥居と同じく神仏習合の歴史を感じさせる。

寺の境内は三間平野を見下ろす小高い山の中腹にあり、向かって右手に大師堂があり、左手に本堂がある。本堂は町を見守るように佇んでおり、鐘楼や大師堂のあたりからの眺望も実に素晴らしい。

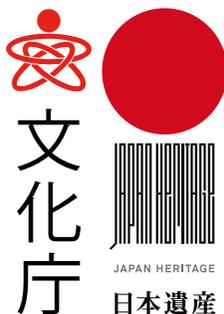
境内からはさらに石段が延び、その先にはひときわ目を引く赤い鳥居が建っている。この赤い鳥居は稲荷神社のもので、そこから石段を40段ほど上がったところに、緑に抱かれた稲荷神社の社殿がある。



神仏分離令で明治時代に建てられた本堂



御詠歌/この神は三国流布の密教を守り給わむ誓いとぞ聞く  
本尊/十一面観世音菩薩  
真言/おん まか きやろにきゃ そわか  
宗派/真言宗御室派  
開基/弘法大師



## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



# 「四国遍路」巡礼マップ

第41番 龍光寺 ▶ 第42番 仏木寺



2.6 km

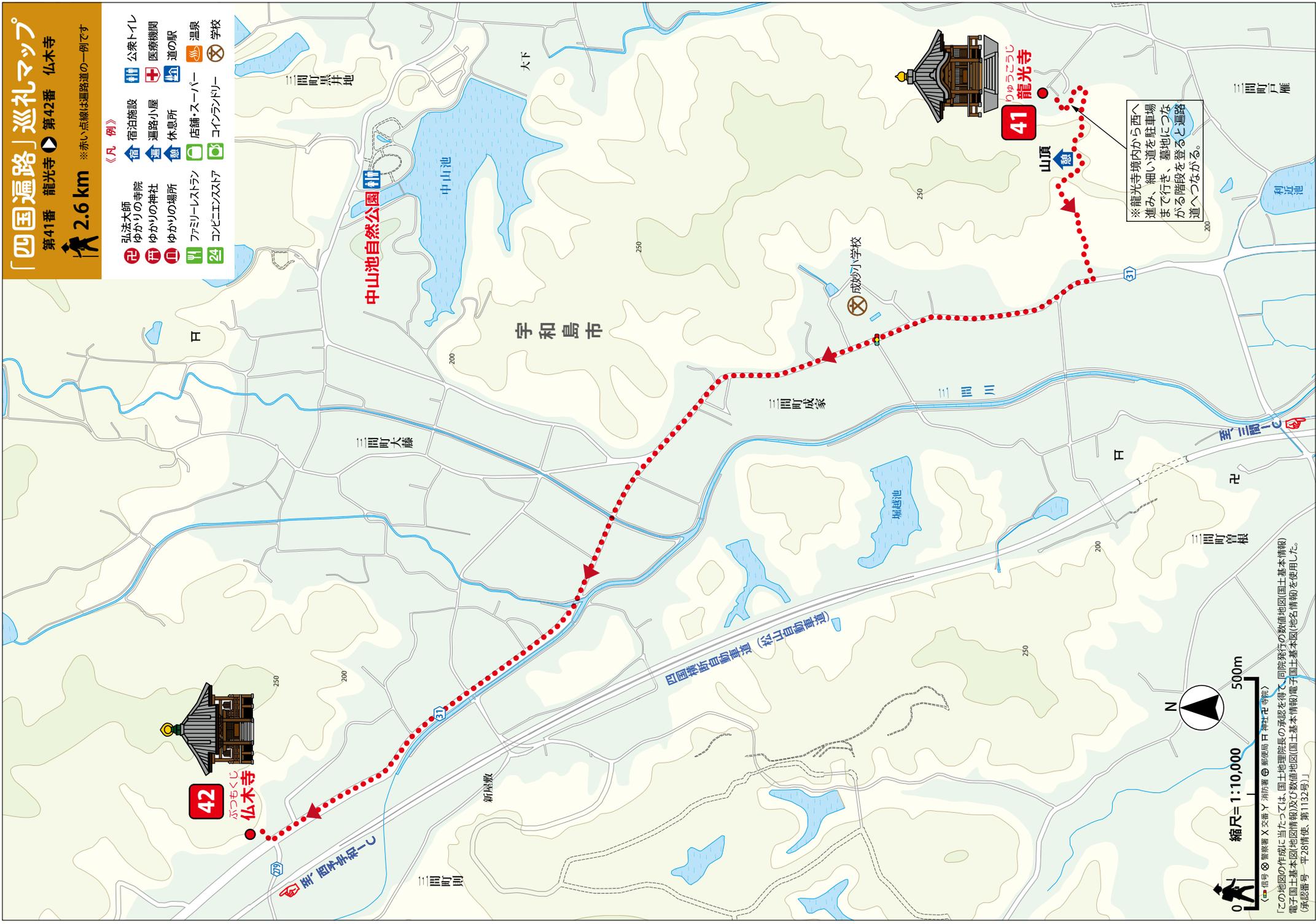
※赤い点線は通路道の一例です

## 《凡例》

- |            |          |       |
|------------|----------|-------|
| 弘法大師ゆかりの寺院 | 宿泊施設     | 公衆トイレ |
| ゆかりの神社     | 運路小屋     | 医療機関  |
| ゆかりの場所     | 休息所      | 道の駅   |
| ファミリーレストラン | 店舗・スーパー  | 温泉    |
| コンビニ・ストア   | コインランドリー | 学校    |



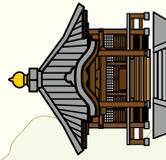
42 仏木寺  
ぶつちくじ



中山池自然公園

宇和島市

41 龍光寺  
りゅうこうじ



※龍光寺境内から西へ  
進み、細い道を駐車場  
まで行き、臺地につな  
がる階段を登ると通路  
道へつながる。



縮尺=1:10,000

500m



(=) 番号 ⊗ 警察署 X 交差点 Y 消防署 ⊕ 郵便局 □ 神社・寺等  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(電子国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使 第1132号)

### 第42番 仏木寺

●愛媛県宇和島市三間町則1683  
☎0895-58-2216  
●宿坊/なし



### 第43番 明石寺

●愛媛県西予市宇和町明石205  
☎0894-62-0032  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 愛媛県歴史文化博物館

見て楽しめる展示で愛媛県の歴史と民俗を紹介。歴史展示ゾーンでは、原始古代・中世・近世・近現代を象徴する建物や町並みを原寸大模型で再現。民俗展示ゾーンには、県内の祭りを彩る山車や神輿、海・山・里の家や四国遍路を紹介。空海の半生を和紙人形で表現した「密●空と海 ―内海清美展―」も常設展示している。

☎ 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2  
☎ 0894-62-6222  
🕒 9:00～17:30(入館は17:00まで)  
🌿 月曜(第1月曜または祝日の場合は翌日)  
🏠 常設展大人510円



#### 沿線の見どころ



#### 道の駅 どんぶり館

みかんジュース「ムテンカ」や城川自然牧場のハム・ソーセージ、野村町ほわいとファームの乳製品、宇和茶など、西予市の特産品がバラエティ豊かに揃うお立ち寄り処。旬の野菜や果物、鮮魚が並ぶ「青空市」は新鮮さとお手頃価格で人気。地元産の食材でつくる料理が味わえるレストランやジェラートショップもある。

☎ 愛媛県西予市宇和町福生118  
☎ 0894-62-5778  
🕒 8:00～18:00  
🏠 無休



#### 境内の見どころ



#### 鐘楼

仏木寺の境内でひときわ目を引くのが茅葺き屋根の鐘楼。これは四国霊場のなかでここだけという珍しいものだ。元禄年間(1688～1704)に再建されたといわれており、300年以上もの歴史を誇っている。のどかな山里の景色と茅葺き屋根の風情が相まって実に情緒豊かだ。屋根は幾度も葺き替えられている。



境内には聖徳太子堂や道祖神、家畜堂なども並んでいる

### 第42番

# 一稜山 毘盧舎那院 仏木寺

いつかざん びるしゃないん ぶつもくじ

## 病氣平癒の「瓜封じ」で有名な寺

#### 歴史・全体像

本尊が大日如来であることに由来し、地元の人から「大日さま」と親しまれている。大同2年(807)、弘法大師が四国を巡錫中にこの地で牛を引いて歩く一人の老人に出会った。老人に誘われるままに、牛の背中に乗って行くと、桶の梢で光を放つ宝珠を見つけた。それは、大師が唐の国から帰る際に、「有縁の地が選ばれるように」と、三鈷杵とともに東方へ投げた宝珠だった。大師はこの地が霊地であると感得し、桶で大日如来を彫り、その眉間に宝珠を埋め、これを本尊として一寺を建立した。寺の起りから、牛馬家畜の守り本尊としても信仰を集めている。

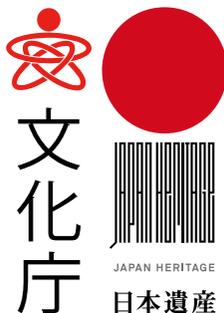
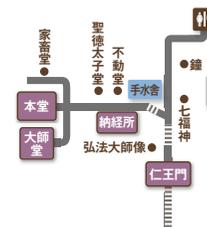
#### 境内

仁王門をくぐり石段を上ると、右側には珍しい茅葺き屋根の鐘楼がある。納経所は左側の石段を上ったところにあり、その奥に本堂と大師堂が並ぶ。本堂は、享保13年(1728)に吉田藩主・伊達若狭守によって建立されたと伝えられている。本堂の大日如来坐像、大師堂の弘法大師坐像ともに県指定文化財。弘法大師坐像は、檜の寄木造りで、正和4年(1315)の銘が入っており、胎内銘入りの弘法大師像としては日本最古ではないかといわれている。「南予七福神」の一寺でもあり、境内には七福神の石像が祀られている。



屋根の上に金色の宝珠が施された本堂

御詠歌／草も木も仏になれる仏木寺  
なお頼もしき鬼畜人天  
本尊／大日如来  
真言／おん あびらうんけん ばざら  
だとばん  
宗派／真言宗御室派  
開基／弘法大師



### 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に





### 第43番 明石寺

●愛媛県西予市宇和町明石205  
☎0894-62-0032  
●宿坊/なし



### 第44番 大寶寺

●愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2-1173-2  
☎0892-21-0044  
●宿坊/あり(要予約)



#### 沿線の見どころ



#### 臥龍山荘(がりゅうさんそう)

肱川随一の景勝地・臥龍淵を眼下に望む臥龍山荘は、明治の貿易商・河内寅次郎が造り上げた庵。臥龍院、知止庵、不老庵は見学可能。それぞれに数寄を凝らした匠の技が見られ、中でも不老庵は川面で反射する月光が天井を明るくする巧みな趣向が施されている。風光明媚な自然の景観を借景にした庭園も見事だ。

所 愛媛県大洲市大洲411-2  
☎ 0893・24・3759  
🕒 9:00～17:00(礼止16:30)  
🚶 無休  
👤 大人500円



#### 沿線の見どころ



#### 内子座

大正5年(1916)に建てられた木造2階建て、瓦葺き入母屋造りの芝居小屋。回り舞台や花道、拵席などを整えた本格的な造りで、歌舞伎独自の形式も見ごたえ十分。建築当時の姿を修復復原し、現在も内子座文楽や演劇などが開催されている。公演がない時は見学が可能で、数々の仕掛けが見られるほか、舞台上に立ったり花道を歩いたりもできる。

所 愛媛県喜多郡内子町内子2102  
☎ 0893・44・2840  
🕒 9:00～16:30  
🚶 12/29～1/2  
👤 大人400円、小中学生200円



#### 境内の見どころ



#### しあわせ観音像

仁王門の手前を右手奥へと進んだ小高い場所に、左手に水瓶を持ち、慈悲深いお顔をした「しあわせ観音像」がある。この観音像は京都市在住の女性が寄進したもの。周囲には西国三十三所の石像を配しており、観音像まで歩いていくと、それらの石像を巡拝することができる。巡拝用のお札は納経所で受けられる。



蔽かな境内には、緑に抱かれるように本堂や大師堂が並ぶ

### 第43番

# 源光山 明石寺

げんこうざん えんじゅいん めいせきじ

## 武士が帰依した源頼朝ゆかりの寺

### 歴史・全体像

欽明天皇(539～571)の勅願により、円手院正澄という行者が千手観音を安置し、七堂伽藍を建立して開基した。天平6年(734)に、寿元行者が紀州熊野より十二社権現を勧請し、12坊を建立して修験道場とした。その後、荒廃した伽藍を弘法大師が再興し、霊場に定めた。建久5年(1194)には源頼朝が命の恩人である池の禪尼の菩提を弔って、阿弥陀如来を安置。同時に経塚を築き、堂宇の修繕を手がけたという。その後、武士の信仰を集め、室町時代には西園寺氏の祈願所となり、寛文12年(1672)には、宇和島藩主・伊達宗利が堂宇を建立したと伝えられている。

### 境内

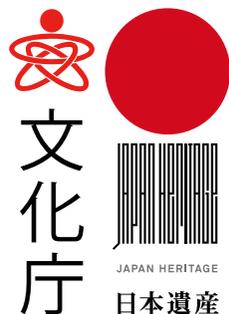
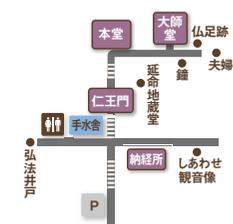
杉や松の老樹をはじめ自然林が生い茂る境内は、霊験あらたかな雰囲気にも包まれている。石段を上ると、風格を漂わせる仁王門。門をくぐり、さらに石段を上った正面に唐破風造りの本堂がある。現在の本堂は明治時代に地元を中心とした信者の浄財によって建立されたもの。細工が美しく、めでたい絵柄を描いた天井絵が彩りを添えている。

見どころは多く、大師堂のすぐそばには夫婦杉と呼ばれる杉の巨木がそびえている。また、仁王門の手前を左に行くと弘法大師の行場跡だと伝えられる弘法井戸、右に行くとしあわせ観音像がある。



風格のある本堂は彫刻等の細工が優美

御詠歌/きくならく千手ちかひのふしぎにはだいばんじゃくもろくあけいし本尊/千手観世音菩薩  
真言/おん ばざら たらま きりく そわか  
宗派/天台寺門宗  
開基/円手院正澄



文化庁



JAPAN HERITAGE

日本遺産

## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に





### 第44番 大寶寺

●愛媛県上浮穴郡久万高原町管生2-1173-2  
☎0892-21-0044  
●宿坊/あり(要予約)



### 第45番 岩屋寺

●愛媛県上浮穴郡久万高原町七鳥1468  
☎0892-57-0417  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 国民宿舎 古岩屋荘

四国カルスト自然公園にある「名勝 古岩屋」を望む温泉宿。天然温泉は、自然石を使用した岩風呂で野趣満点だ。湯上がりには看板料理のキジ鍋をはじめ、イベントなどで人気のシン肉料理をいただく。古岩屋を彩る秋の紅葉など、四季折々の久万高原の自然に囲まれてリフレッシュできる。

☎ 愛媛県上浮穴郡久万高原町直瀬乙1636  
☎ 0892-41-0431  
🕒 日帰り入浴12:00~22:00  
(1~3月は利用時間変更又は休館日あり)  
🕒 日帰り入浴大人400円、1泊2食付7,350円~



#### 沿線の見どころ



#### 道の駅 天空の郷さんさん

みずみずしい高原野菜が揃う産直市、焼きたてパンがずらりと並ぶパン工房、地元の旬の食材をたっぷり使ったランチバイキングが人気のレストランなど、久万高原の旨いものが集まる道の駅。トマトなど、地元産品を使ったご当地ソフトクリームが味わえるフードコーナー「でんこ」も要チェックだ。

☎ 愛媛県上浮穴郡久万高原町入野1855-6  
☎ 0892-21-3400  
🕒 9:00~17:00(季節により異なる)  
🕒 元日のみ(季節・施設により異なる)

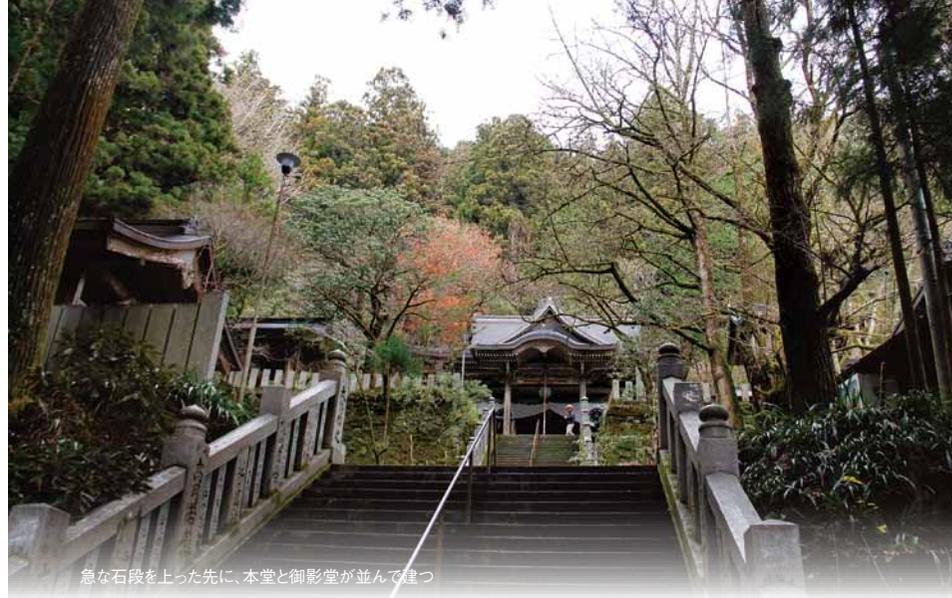


#### 境内の見どころ



#### 仁王門

仁王門は、駐車場から少し山道を下った場所にある。明治7年(1874)に焼失したため、昭和31年(1956)に再建した。内部には仁王尊が安置されている。この仁王門には、門に入りきらないほど大きな草鞋が吊るされているが、これは信者から寄進されたもの。草鞋は100年に一度取り替えられる。



急な石段を上った先に、本堂と御影堂が並んで建つ

### 第44番

# 菅生山 大寶寺

すごうざん だいかくいん だいほうじ

## 老樹が風情を醸し出す山間の寺

### 歴史・全体像

百済からやってきた聖僧が十一面観世音菩薩を携えてきて、山中に安置。それを明神右京、隼人という獵師が発見、草庵に祀ったのが始まり。大寶元年(701)、文武天皇の勅願により寺院が建立された。弘法大師は弘仁年間(810~824)にここで密教三密を厳修し、第44番の霊場に定めた。仁平2年(1152)には失火により焼失。保元元年(1156)に脳の病に苦しむ後白河天皇の病氣平癒を願って勅使がやってきた。病が治ったため、天皇は妹宮を住職として下向させ、勅願寺とした。その後、長宗我部氏の兵火、明治の失火により焼失するが、再興した。

### 境内

緑深い山の中にある大寶寺。石段の下から見上げると、青い銅板葺きの屋根が木々に映えて美しい。この建物は明治時代に焼失した後、大正時代に再建された。

鐘楼は二つあり、石段を上って右側にある鐘がもともとあった古いものだ。左側の鐘は「平和の鐘」と呼ばれており、これは第二次世界大戦で亡くなった地元の英霊を供養するために建てられた。本堂に向かって右側にある御影堂(大師堂)は、昭和59年(1984)に再建された比較的新しい建物で、総檜造り、宝珠寄棟銅板葺きという豪壮なもの。一見の価値がある見事な建物だ。



大正時代に再建された銅板葺きの本堂



御詠歌/いまの世は大悲のめぐみすごうさんついにみだのちかいをぞまつ本尊/十一面観世音菩薩  
真言/おん まか きやろにきゃ そわか  
宗派/真言宗豊山派  
開基/明神右京・隼人



## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

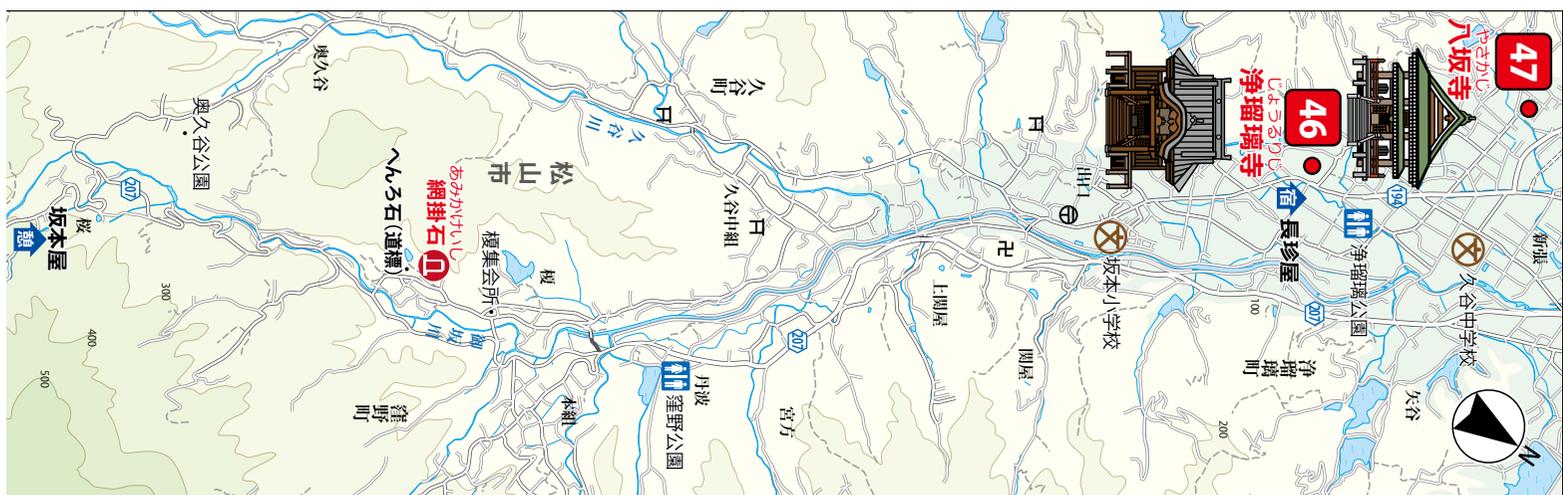
文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に





|               |              |
|---------------|--------------|
| 1 大寶寺宿坊       | 0892-21-0044 |
| 2 和佐路         | 0892-41-0651 |
| 3 久万高原ふるさと旅行村 | 0892-41-0711 |
| 4 癒しのお宿「八丁坂」  | 0892-41-0678 |
| 5 民宿観光農園狩場苑   | 0892-41-0550 |
| 6 国民宿舎 古岩屋荘   | 0892-41-0431 |
| 7 民宿かどた屋      | 0892-57-0801 |
| 8 おもひ旅館       | 0892-21-0024 |
| 9 民宿一里木       | 0892-21-0505 |
| 10 やすらぎの宿でんこ  | 0892-21-0092 |
| 11 桃李庵        | 0892-21-1075 |
| 12 長珍屋        | 089-963-0280 |



### 第45番 岩屋寺

●愛媛県上浮穴郡久万高原町七鳥1468  
☎0892-57-0417  
●宿坊/なし

### 第46番 浄瑠璃寺

●愛媛県松山市浄瑠璃町282  
☎089-963-0279  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 町立久万美術館

地元出身の林業家・故井部榮治氏からコレクションの寄贈を受けて開館した美術館。大正から昭和初期の洋画を中心に、近世から近代にかけての伊予の書画、砥部焼などの陶磁器、現代美術も展示されている。年に1~2回の企画展のほか、ギャラリートークやコンサートも開催。木の温もりあふれる木造建築も魅力だ。

☎ 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2-1442-7  
☎ 0892-21-2881  
🕒 9:30~17:00(入館は16:30まで)  
🗓 月曜(祝日の場合は営業)、祝日の翌日、展示替期間中、等  
👤 大人500円  
※企画展については別に定める額



#### 沿線の見どころ



#### 久万高原ふるさと旅行村

古民家や水車小屋など歴史ある建物を移築し、風情ある豊かな農村を再現。懐かしい景色の中で、農山村の暮らしを体感することができる。愛媛県産の食材を使った食事もあるので、お遍路さんの立ち寄りにもおすすめ。夜には村内にある久万高原天体観測館で、美しい星空の観察もできる。

☎ 愛媛県上浮穴郡久万高原町下畑野川乙488  
☎ 0892-41-0711  
🕒 8:30~17:00  
🗓 月曜(祝日の場合は営業)、祝日の翌日  
👤 入村料無料、ケビン宿泊4人用11,070円(税込)~



#### 境内の見どころ



#### 遍割禅定(せりわりぜんじょう)

大師堂奥の仁王門から狭い山道を300mほど上ると、かつての弘法大師の修行の場・遍割禅定がある。入り口には木製の扉があり、危険を伴うため普段は鍵が掛かっている。そそり立つ大岩の裂け目を抜け、鎖を頼りに約10m岩山を上る。さらに21段のはしごを上れば、岩の頂上に祀られた白山権現にたどり着く。



山中にあり、垂直の礫岩峰に抱かれた境内は荘厳な雰囲気

### 第45番

# 海岸山 岩屋寺

かいはんさん いわやし

## 法華仙人が住んだ幻想的な霊山

### 歴史・全体像

この地は法華仙人が修行をしていた場所。弘仁6年(815)、弘法大師が修行の霊地を探して入山。明王鈴の音を頼りに岩山に上がったところ、法華仙人に出会った。弘法大師に帰依した仙人は、山を弘法大師に献上して往生を遂げる。大師は木と石の不動明王を刻み、木像は本尊として本堂に安置して開創。石像は山に封じ込め、山そのものを本尊とした。寺の左右にある礫岩峰は、山に向かって左側が胎蔵界峯、右側が金剛界峯と呼ばれている。金剛界峯には、法華仙人の修行の跡と舍利塔が残っている。大師堂は、近代和風建築の傑作として、平成19年(2007)に国の重要文化財に指定された。

### 境内

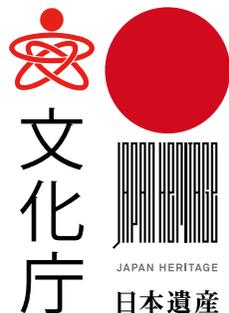
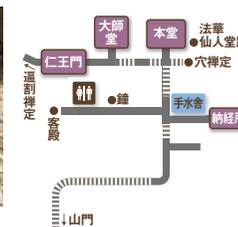
岩山に圧倒されるように建てられている本堂だが、実際には岩が本堂を守るように立っていることに気づく。山岳霊場の典型的な景観となっている。この本堂がある境内からの眺めは、実に幻想的。大師は「山高き谷の朝霧海に似て松吹く風を波にたとえむ」と詠んだといい、この歌は海岸山という山号の由来となった。

大正9年(1920)に建立された大師堂は、本堂から少し離れた場所にある。大師堂は本堂より大きく、また高い場所に位置している。これは本尊の一つでもある石像が山に封じ込められているため。山全体を本尊とする寺ならではのこた。

御詠歌/だいしょうのいのり力のげにいわや石の中にもごらくぞある本尊/不動明王  
真言/のうまくさんまんだばざらだんせんだまかろしゃだそわたやうんたらたかんまん  
宗派/真言宗豊山派  
開基/弘法大師



本堂の横のはしごの上は法華仙人堂跡



## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「復讐型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第45番 岩屋寺 第46番 浄瑠璃寺

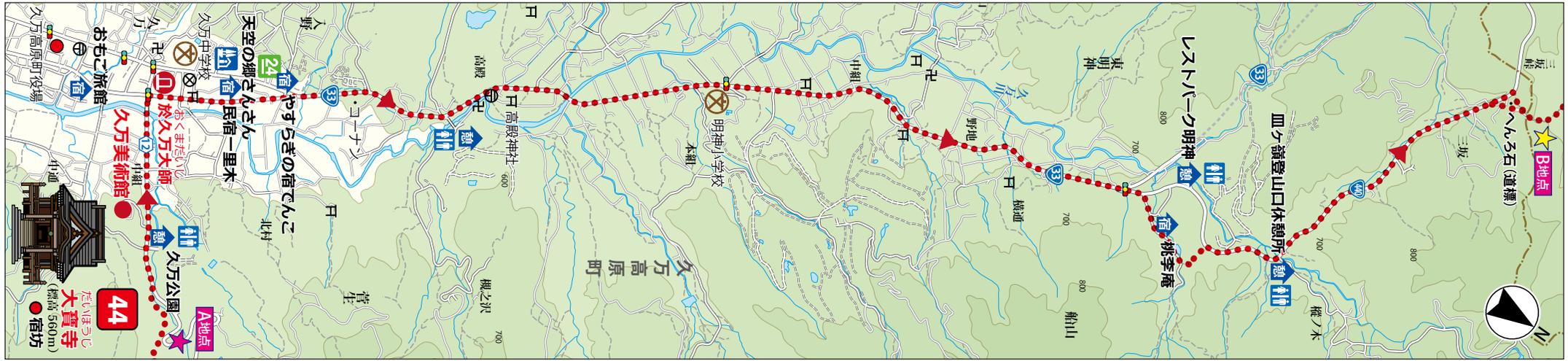


# 「四国遍路」巡礼マップ

第45番 岩屋寺 ◀ 第46番 浄瑠璃寺

29.5km ※赤い点線は通路道の一例です

- 《凡例》
- 弘法大師 ゆかりの寺院
  - ゆかりの神社
  - ゆかりの場所
  - 宿泊施設
  - 通路小屋
  - 休息所
  - 公衆トイレ
  - 医療機関
  - 道の駅
  - 温泉
  - 学校
  - ファミリーレストラン
  - コンビニエンスストア
  - 店舗・スーパー
  - コインランドリー



## へんろみち周辺の宿泊施設

|              |              |             |              |
|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 1 民宿かどた屋     | 0892-57-0801 | 6 大寶寺宿坊     | 0892-21-0044 |
| 2 国民宿舎 古岩屋荘  | 0892-41-0431 | 7 おもご旅館     | 0892-21-0024 |
| 3 民宿観光農園狩場苑  | 0892-41-0550 | 8 民宿一里木     | 0892-21-0505 |
| 4 癒しのお宿「八丁坂」 | 0892-41-0678 | 9 やすらぎの宿でんこ | 0892-21-0092 |
| 5 和佐路        | 0892-41-0651 | 10 桃李庵      | 0892-21-1075 |
|              |              | 11 長珍屋      | 089-963-0280 |

### 第46番 浄瑠璃寺

●愛媛県松山市浄瑠璃町282  
☎089-963-0279  
●宿坊/なし



### 第47番 八坂寺

●愛媛県松山市浄瑠璃町八坂773  
☎089-963-0271  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### とべ温泉 湯砥里館(ゆとりかん)

良質なナトリウム泉で入浴後は肌がスベスベになる「美人の湯」と評判。超音波風呂、気泡風呂、サウナ、水風呂の4種の風呂を楽しめる。高台にあって眺めがよく、開放感たっぷり。また、浴室には春秋窯の工藤省治氏が砥部の山や瀬戸内海の波をイメージしてデザイン・絵付けした陶壁画が飾られている。



#### 境内の見どころ



#### 仏手石・仏足石・仏手花判

境内の仏手石には、知恵や技能のご利益があり、文筆業の人の参拝が多い。健脚や交通安全にご利益のある仏足石は、素足になりこの上に立って祈願する。また、心身堅固と文筆達成に靈験あらたかといわれている仏手花判もある。ほかに、知恵、財宝、音楽にご利益のある一願弁天も祀られている。



#### 境内の見どころ



#### 初大師(もみだいし)

緑豊かな境内に堂々とそびえ立つのは、樹齢約1000年の伊吹柏楨の大木。この木は弘法大師が加持したと伝えられており、松山市の天然記念物に指定されている。その根元には、延命・豊作にご利益があるといわれている「初大師」が鎮座する。そのため、いつの時代も多くの人々から信仰を集めている。



石段を上ると、並木の正面に本堂がある

### 第46番

# 医王山 浄瑠璃寺

いおうざん ようじゆいん じょうるりじ

## 仏の心に触れご利益に恵まれる寺

### 歴史・全体像

和銅元年(708)、奈良の大仏開眼に先だって、仏教を布教するために伊予国を旅していた行基が、この地を仏教流布の最適地と確信して伽藍を建立。この時、自ら本尊の薬師如来や脇仏の日光・月光菩薩像、十二将神像を刻んで安置した。寺号は薬師如来のいる場所が瑠璃光浄土ということ、薬師如来の別名が瑠璃光如来ということに由来する。大同2年(807)には弘法大師もこの寺を訪れ堂宇を創建し、第46番に定めた。戦国時代には荒廃・中興をくり返し、江戸時代には山火事が原因で、本尊、脇仏を除くほとんどの寺宝、伽藍を焼失。現在の堂宇は天明5年(1785)に再建されたものである。

### 境内

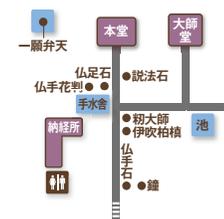
さまざまなご利益があるといわれる浄瑠璃寺。境内に入ってすぐの場所に仏手石があり、その向こうには樹齢約1000年の「伊吹柏楨(いぶきびやくしん)」と呼ばれる大木がある。この木は松山市の天然記念物に指定されている。

本堂の手前には、お釈迦様が法華経などを説いた霊鷲山の石を埋め込んだという説法石がある。本堂は、天明5年(1785)に再建されたもの。その向かって右側には、古色蒼然とした大師堂が佇む。

また、左側には、仏足石や仏手花判(ほとけの指紋)があり、多くのお遍路さんがお参りしている。

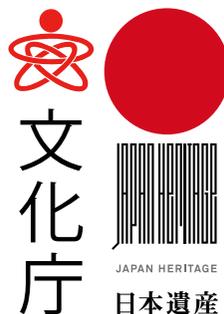


木もれ日の向こうに美しい本堂の佇まい



御詠歌/ごくらくのじょうるり世界たくらえばうくる苦楽はむくいならまし  
本尊/薬師如来  
真言/おん ころころ せんだり まとうぎ そわか  
宗派/真言宗豊山派  
開基/行基菩薩

☞ 愛媛県伊予郡砥部町宮内1902-3 浄瑠璃寺から西へ約5Km  
☎ 089-962-7200  
🕒 10:00~22:00(礼止21:30)  
📅 毎月1~20日(土・日曜、祝日の場合は翌日)  
👤 大人500円



## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に

# 「四国遍路」巡礼マップ

第46番 浄瑠璃寺 ▶ 第47番 八坂寺

0.9km

※赤い点線は通路道の一例です

## 《凡例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニストア
- 宿泊施設
- 運路小屋
- 休息所
- 店舗・スパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校



縮尺=1:17,000  
1000m

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地区情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使 第1132号)

へんろみち周辺の宿泊施設  
1 長珍屋 089-963-0280

### 第47番 八坂寺

●愛媛県松山市浄瑠璃町八坂773  
☎089-963-0271  
●宿坊/なし



### 第48番 西林寺

●愛媛県松山市高井町1007  
☎089-975-0319  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 愛媛県立とべ動物園

10のゾーンに約160種類の動物たちが暮らす、西日本有数の規模を誇る動物園。動物たちを自然に近い形で観察できる展示が人気で、モンキータウンでは空中散歩するオランウータンを眺め、リトルワールドでは橋を渡る愛らしいレッサーパンダの姿を見ることが出来る。各所に設置されたエサやり体験も人気。

☞愛媛県伊予郡砥部町上原町240  
八坂寺から国道33号線経由、  
北西へ約4Km  
☎089-962-6000  
☎9:00～17:00(入園は16:30まで)  
休月曜(祝日の場合は開園)  
料一般500円



#### 境内の見どころ



#### いやさか不動尊

八坂寺の駐車場の一角に立つ、高さ4mもある不動明王像。平成17年(2005)に衰退していた修験道を再興するために造られた像で、「いやさか」には、ますます栄えるという願いが込められている。同時に柴燈護摩道場も建立され、それ以降、毎年4月29日に「柴燈大護摩供火生三昧火渡り修行」が行われている。



#### 境内の見どころ



#### 閻魔堂

閻魔堂の左右にはトンネルがある。まず左の「地獄の途」に入り、右の「極楽の途」から出ると、極楽浄土へ行けるといわれている。「極楽の途」には美しい浄土が、「地獄の途」のほうには餓鬼道や畜生道が描かれており、迫力ある地獄絵は見ものだ。また、橋門の天井画も鮮やかな彩色で参拝者を魅了している。



石段を上ると、その先に本堂がある

### 第47番

# 熊野山 八坂寺

くまのざん みょうけんいん やさかじ

## 秘仏の本尊は50年に一度開帳

### 歴史・全体像

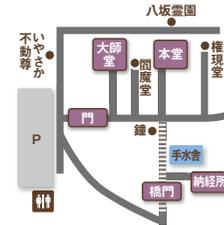
役行者小角(えんのぎょうじゃおづぬ)によって開基され、大宝元年(701)、文武天皇の勅願で伊予の国司・越智玉興(たまおき)が創建。伽藍の建立のために、8つの坂を切り開いたことに由来して寺号が付けられた。後に寺は荒廃するが、弘仁6年(815)に弘法大師が来錫して再興し、第47番に定めた。その後、隆盛を極めた寺は、末寺48ヶ寺を所有する修験道の根本道場として栄える。しかし、天正年間(1573～1592)の長宗我部氏の兵火により伽藍の多くを焼失してしまう。現在の堂宇はその後に再建されたもので、全盛時に比べると、その規模はかなり縮小されているという。

### 境内

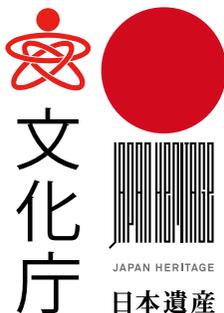
橋門をくぐり、やや急な石段を上って行くと、その途中に鐘楼がある。正面には、鉄筋コンクリート造りの美しい本堂が建ち、その左には大師堂が並ぶ。戦国時代以来、再興と焼失を繰り返したため、本堂と大師堂は近年再建されたもの。周囲の自然と相まって凜とした佇まいを見せる。本尊は平安時代中期の名僧・恵心僧都(えしんそうず)作といわれる御丈三尺、寄木造りの阿弥陀如来。秘仏とされ、開帳は50年に一度に限られている。本堂と大師堂の間には閻魔堂、本堂の向かって右奥へ進むと、紀州の熊野権現や十二社権現を祀る権現堂がある。



自然に溶け込んだ、風格のある本堂



御詠歌/花をみてうたよむ人は八坂寺三仏じょうの縁とこそきけ  
本尊/阿弥陀如来  
真言/おん あみりた ていせい からうん  
宗派/真言宗醍醐派  
開基/役行者小角



## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に

# 「四国遍路」巡礼マップ

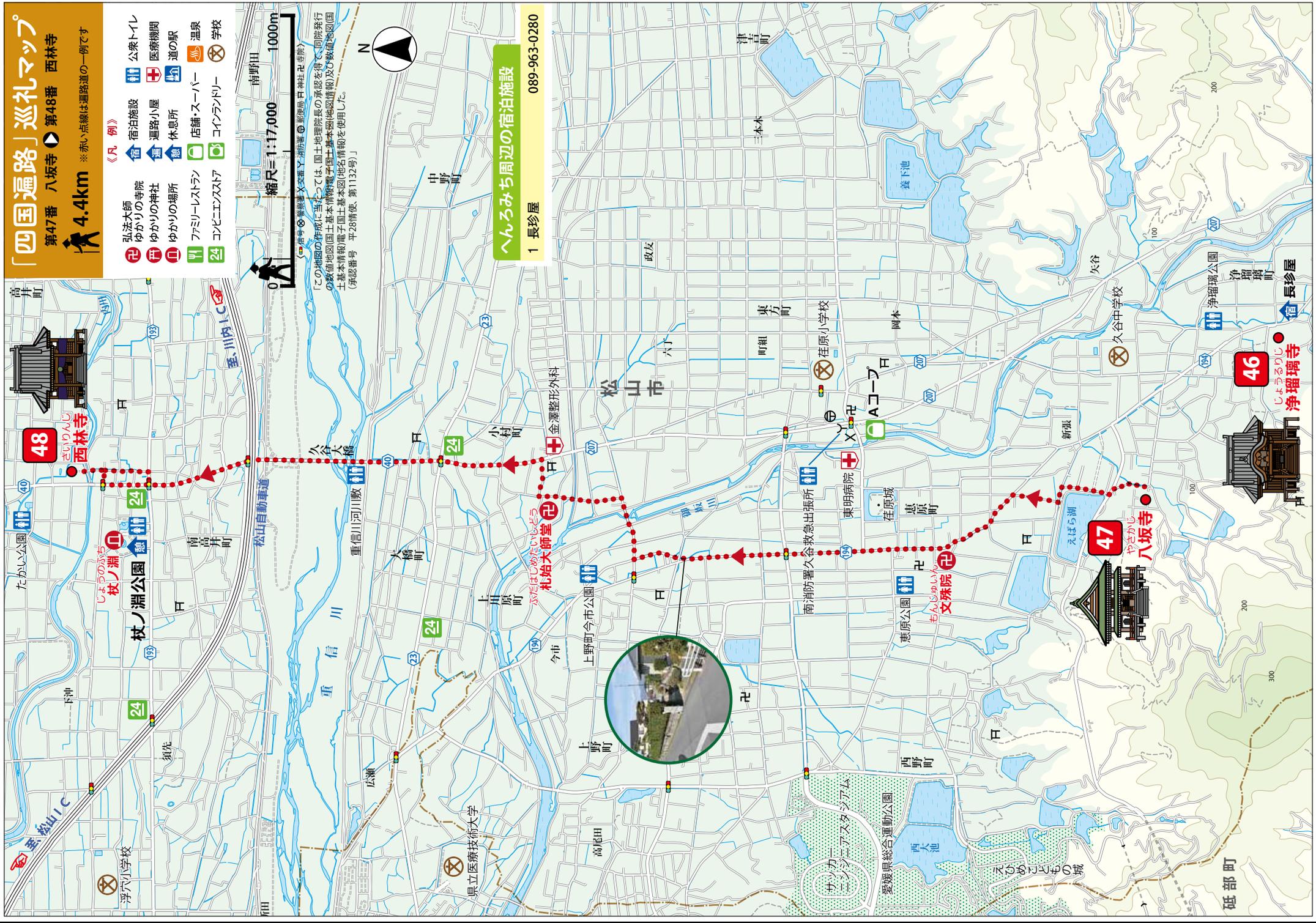
第47番 八坂寺 ▶ 第48番 西林寺

4.4km

※赤い点線は通路道の一例です

## 《凡例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニストア
- 宿泊施設
- 運路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校



へんろみち周辺の宿泊施設  
1 長珍屋 089-963-0280

縮尺=1:17,000

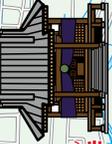
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の教准地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び教准地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使 第1132号)」



46  
浄瑠璃寺  
じやうるりじ



47  
八坂寺  
やさかし



48  
西林寺  
さいりんじ

### 第48番 西林寺

●愛媛県松山市高井町1007  
☎089-975-0319  
●宿坊/なし

### 第49番 浄土寺

●愛媛県松山市鷹子町1198  
☎089-975-1730  
●宿坊/なし



### 沿線の見どころ



### たかのこの湯

開湯から1200年、弘法大師ゆかりの温泉「たかのこ温泉」が平成24年(2012)にリニューアルをしてグランドオープン。旧源泉に加え、天然の炭酸を含んだ新源泉はかけ流し。温泉に隣接するホテル「たかのこのホテル」は、木の温もり溢れるモダンな客室。滞在中何度でも温泉に入浴できるサービスもうれしい。

所 愛媛県松山市鷹子町737-2、736-4  
☎ 温泉089-997-7777、ホテル089-960-1588  
🕒 温泉は5:00～翌1:00、礼止24:00  
ホテルはIN13:00、OUT11:00  
🚿 無休(温泉はメンテナンス休館あり)  
💧 ホテル宿泊5,800円～、温泉大人650円



### 沿線の見どころ



### 杖ノ淵公園

日本名水百選の一つに認定された清らかな水が湧く公園。早魃で苦しむ村人を救うために、この地を訪れた弘法大師が錫杖で水脈を発見したといわれている。現在は公園として整備され、大師像が建つ湧水池を中心に、水遊びのできる親水広場や遊具のある広場、多目的広場などがあり、市民の憩いの場となっている。

所 愛媛県松山市南高井町1346-1外  
☎ 089-948-6497(松山市公園緑地課)



### 境内の見どころ



### 仁王門

境内は門前を流れる川の土手よりも低い位置にある。そのため罪人が門をくぐると無間地獄に落ちるといって伝えがある。天保14年(1843)に再建された仁王門前の川には弧を描いた石橋が架かっており、その左側には「秋風や高井のていれぎ三津の鯛」と書かれた正岡子規の句碑が建っている。



大同2年(807)に弘法大師により現在の場所に移された

### 第48番

# 清滝山 西林寺

せいりゅうざん あんよういん さいりんじ

## 「杖ノ淵」の湧水伝説が残る場所

### 歴史・全体像

天平13年(741)、四国を旅していた行基は伊予の国司・越智玉純と出会い、語り合った末に一寺を建立。本尊の十一面観世音菩薩は行基が刻んだものといわれている。大同2年(807)、四国巡錫中の弘法大師がこの寺に逗留。当時の国司・越智実勝とともに寺を現在地に移し伽藍を再興した。寛永年間(1624～1644)、火災により堂宇を焼失。元禄13年(1700)に松平隠岐守をはじめとする代官や奉行により一部を再建。宝永4年(1707)、西林寺中興の祖・覚榮法印により堂宇と鐘楼が、文化10年(1813)に前大師堂、天保14年(1843)には仁王門が再建された。

### 境内

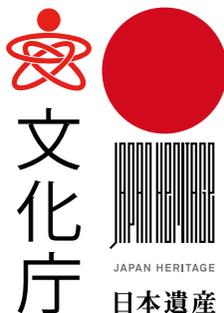
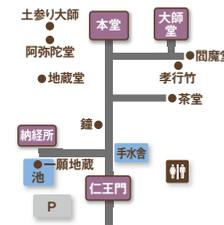
大師ゆかりの湧水で、名水として知られる杖ノ淵がそばにある西林寺。門前には小さな川が流れており、弧を描いた石橋がかけられている。罪人がくぐると無間地獄(むげんじごく)に落とされるという仁王門をくぐり境内へ。正面には大屋根の立派な本堂、その横には近年再建された大師堂がある。その近くには閻魔堂と茶堂が並び建っている。本尊の十一面観世音菩薩は秘仏である。

納経所近くの池には、一つだけ願を叶えてくれるという一願地藏、大師堂近くの閻魔堂前には家庭円満の象徴として信仰される孝行竹がある。災厄除けにご利益があるという土参り大師など、見どころの多い寺だ。

御詠歌/みだぶつの世界をたずねゆ  
きたくば西の林の寺にまいれよ  
本尊/十一面観世音菩薩  
真言/おん まか きやろにきや そわか  
宗派/真言宗豊山派  
開基/行基菩薩



大師堂は近年建て替えられた



## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

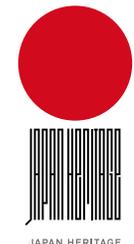
こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に

歩き遍路のための  
「四国遍路」巡礼マップ

第48番 西林寺



第49番 浄土寺



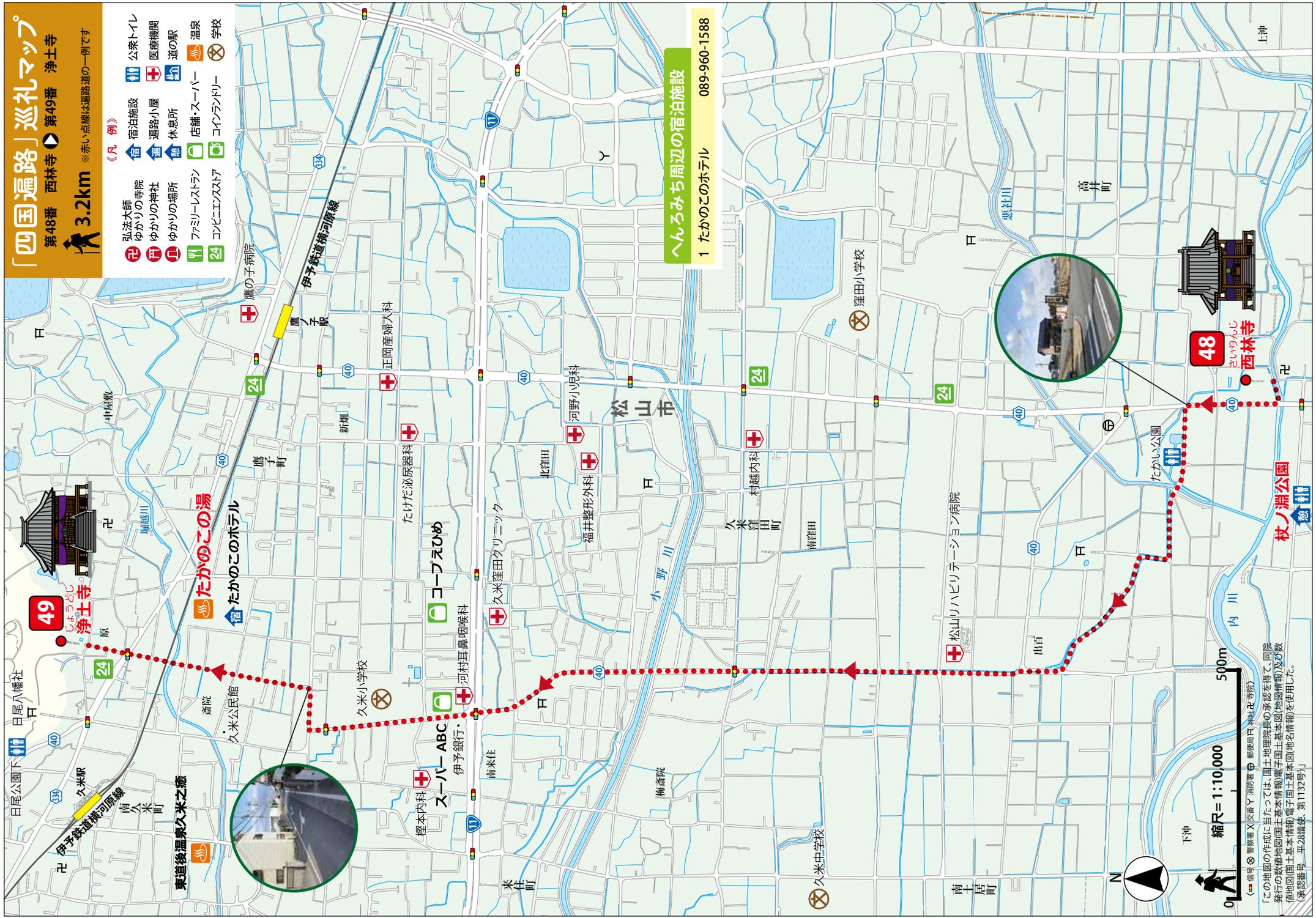
# 「四国遍路」巡礼マップ

第48番 西林寺 ▶ 第49番 浄土寺

3.2km ※赤い点線は道路道の一例です

## 《凡例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニストア
- 宿泊施設
- 温泉
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 休憩所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 学校



## へんろみち周辺の宿泊施設

- 1 たかのこのホテル 089-960-1588

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の政庁地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及びの教健地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。  
 (承認番号 平28第4号 第1132号)

### 第49番 浄土寺

●愛媛県松山市鷹子町1198  
☎089-975-1730  
●宿坊/なし

### 第50番 繁多寺

●愛媛県松山市畑寺町32  
☎089-975-0910  
●宿坊/なし



### 沿線の見どころ



### 東道後のそらともり

美肌の湯として知られる氣養生の癒し処。入浴だけでなく、岩盤浴やボディケア、家族風呂、湯宿、休憩処、本格レストランなどを完備する。お遍路さんの荷物をフロントで預かってくれるサービスや、予約なしでも仮眠できるオーバーナイトステイも好評で、体の疲れだけでなく心も癒されそう。

所 愛媛県松山市南久米町3-1  
☎ 089-970-1026  
営業 5:00～翌1:00(最終入館24:00)  
休 無休  
料 非会員1,080円(タオルセット、館内着、岩盤浴利用料込み)  
※会員または時間帯により割引あり  
オーバーナイトステイ2,700円～



### 沿線の見どころ



### 東道後温泉 久米之癒

檜風呂、月之岩盤浴(サウナ)、日之岩盤浴(高温手足湯)など様々な風呂が揃う温泉施設。屋外には岩から湯が流れ落ちる源泉かけ流しの湯や寝転び足湯なども完備している。泉質はアルカリ性単純泉で、肌にやさしく、やわらかな良質のお湯。22時間営業なので、いつでも気が向いた時に利用できるのが便利だ。

所 愛媛県松山市南久米町325-1  
☎ 089-970-1126  
営業 11:00～翌9:00  
休 無休  
料 大人450円



### 境内の見どころ



### 仁王門

大正11年(1922)に建立された仁王門。ダイナミックなこの門の両側には、迫力ある金剛力士像が建つ。右側の阿形像には一時、目玉のない時があった。目玉が失われた理由については「心ない人が盗んだ」ともいわれている。現在は両目とも修理され、澄んだ鋭い眼で、訪れるお遍路さんを見守ってくれている。



山を借景にした境内は凜とした空気が漂う

### 第49番

# 西林山 浄土寺

さいりんざん さんぞういん じょうどじ

## 五百年の歴史を見守る荘厳な本堂

### 歴史・全体像

天平勝宝年間(749～757)に孝謙天皇の勅願で、恵明上人が行基作の釈迦如来を祀り創建したと伝えられている。後に弘法大師がこの寺を訪れた時には荒廃しており、大師により伽藍が再興された。最盛期には66坊もの末寺を持つ大寺院だった。

鎌倉時代には源頼朝によって再興されたが、応永23年(1416)に兵火によって堂宇のほとんどを焼失。文明14年(1482)には、伊予の豪族・河野通宣が再建し再び寺勢を盛り返す。現在の本堂はこの時に建てられたもの。慶安2年(1649)の大修理などを経て、今日に至っている。本堂は国の重要文化財。

### 境内

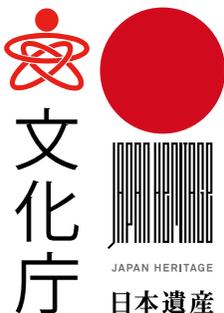
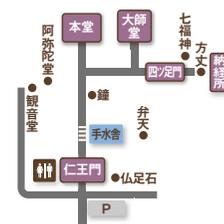
静寂な空気に包まれた境内の中央には、簡素ながらも堂々とした風格をたたえた本堂が佇んでいる。これは文明14年(1482)に創建された、和様と唐様が折衷した建物。本瓦葺き、寄棟造りで、国の重要文化財に指定されている。

本堂の内陣にある一間厨子も再建時そのままの貴重な建造物。本堂・厨子ともに、昭和36年(1961)に解体・修理が行われた。本堂に向かって右手に、大師堂と鐘楼がある。千社札や幟旗、わらじなど様々な奉納物が納められている大師堂は、親しみやすい雰囲気だ。本堂に向かって左側には阿弥陀堂、観音堂がある。

御詠歌/十悪のわがみをすてずそのままにじょうどの寺へまいりこそすれ  
本尊/釈迦如来  
真言/のうまくさんまんだぼだなんばく  
宗派/真言宗豊山派  
開基/恵明上人



様々な奉納物で飾られている大師堂



## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に

# 「四国遍路」巡礼マップ

第49番 浄土寺 ▶ 第50番 繁多寺

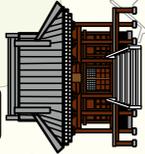


1.8km ※赤い点線は通路道の一例です

## 《凡例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエスストア
- 宿泊施設
- 運路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

50 繁多寺



媛彦温泉



柳寺(西)



柳寺(中)



新池



古池



松山市

かんだ内科



北野

仙波農園



北久米小学校



北久米駅



南組



日尾公園



日尾八幡神社



久米駅



伊予鉄道護国原線



南久米町



縮尺=1:7,000

500m



東道後温泉 久米之癒



たかのこの湯



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(電子国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情保 第1132号)

◀(中) 郵便局 X 交番 Y 消防署 ◎ 郵便局 ㊦ 神社 ㊧ 寺院 ▶

## へんろみち周辺の宿泊施設

- 1 たかのこのホテル 089-960-1588
- 2 東道後のそらともり 089-909-7117

東道後のそらともり



49 浄土寺



0

### 第50番 繁多寺

●愛媛県松山市畑寺町32  
☎089-975-0910  
●宿坊/なし



### 第51番 石手寺

●愛媛県松山市石手2-9-21  
☎089-977-0870  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 媛彦温泉

地下1000mから湧き出るアルカリ性単純温泉で、湯冷めしにくいと評判。美肌効果もあるという。浴室の壁や床には遠赤外線セラミックを多く含む麻照（マテラ）鉱石を敷き詰め、発汗・デトックス効果をもたらす。様々な趣の露天でくつろぐ家族風呂もある。入浴とレストランでの食事がセットになったお得なプランもある。

☎愛媛県松山市畑寺3-4-5  
☎089-960-1441  
🕒9:00～翌7:00(家族風呂は24時間営業)  
👤年1回点検休業あり  
👤大人550円、家族風呂1室60分2,500円～(1室4名までの場合)



#### 境内の見どころ



#### 鐘つき堂の天井絵

元禄の鐘をそのまま利用して再建された鐘つき堂には、お遍路さんの注目を集める天井絵がある。これは中国において孝行が特に優れた人物24名を賞して、後世の模範とした「二十四孝」をモチーフに描かれたもの。枠組みの一つひとつに表現された、色彩豊かな二十四孝の世界をじっくりと鑑賞しよう。



#### 境内の見どころ



#### 歓喜天堂

天和年間(1681～1684)、名僧・龍瑚が住職となる。徳川家の帰依を受けることになり、寺運は大いに栄えた。この時に、第四代将軍家綱の念持仏三体の一つである歓喜天を祀った。本堂に向かって左にある歓喜天堂は、平成18年(2006)に再建されたもの。厄除けや商売繁盛、合格祈願に多くの人が訪れる。



郊外の高台にあり、里山の風景になじむ境内

### 第50番

# 東山 繁多寺

ひがしやま りこういん ほんたじ

## 水と緑が彩るのどかな風情の古刹

### 歴史・全体像

天平勝宝年間(749～757)に孝謙天皇勅願により行基が開基したといわれる。本尊の薬師如来像はこの時に行基によって刻まれたと伝わり、一時、光明寺と称された。その後、伊予の国司・源頼義や堯運が再興。弘仁年間(810～824)には、弘法大師が巡錫。この寺を四国八十八ヶ所に定め、名前を繁多寺に改めたという。しかしその後、寺は荒廃。それを弘安2年(1279)、元寇の退散祈願の勅使を受けて聞月上人が再興する。さらに、応永2年(1395)には、後小松天皇の意向で七皇室の菩提寺・京都泉涌寺の快翁和尚が第七世住職となった。以来、高僧が住職となったことで知られる。

### 境内

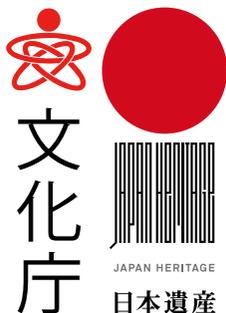
淡路山の中腹、町を見下ろす高台に位置する境内。山門に向かって右側には県の工業用水池があり、穏やかな水面と寺の風景が相まって、のどかで風情のある景観を見せている。鬱蒼と緑が生い茂る森を借景にした堂宇はひととき風情があり、鐘楼(鐘つき堂)には、元禄9年(1696)に信者の浄財により作られた梵鐘が吊るされている。本堂に向かって右側には大師堂がある。

境内の周辺は、景観樹林保護地域に指定された美しい自然の宝庫。境内からの眺望もよく、松山市街はもとより、天気の良い日には瀬戸内海まで見渡すことができる。



境内を一段上がったところに建つ本堂

御詠歌/よろずこそはんなりともおこたらずしょびょうなかれとのぞみのれよ本尊/薬師如来  
真言/おん ころころ せんだり まとうぎ そわか  
宗派/真言宗豊山派  
開基/行基菩薩



## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



# 「四国遍路」巡礼マップ

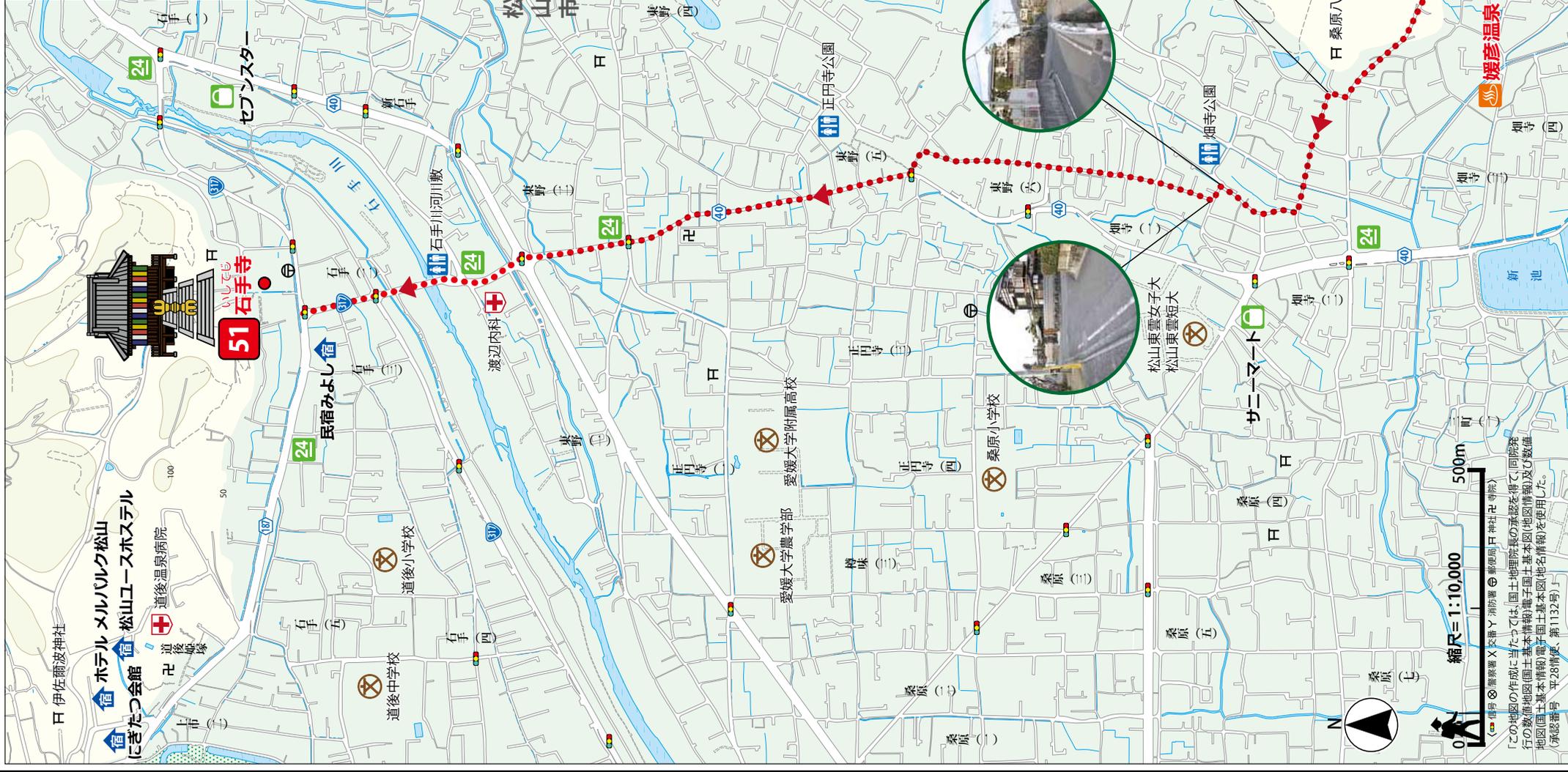
第50番 繁多寺 ▶ 第51番 石手寺



2.8km ※赤い点線は選路道の一例です

## 《凡例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニストア
- 宿泊施設
- 選路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校



- ### へんろみち周辺の宿泊施設
- 1 ホテルメルパルク松山 089-945-6411
  - 2 松山ユースホステル 089-933-6366
  - 3 にぎたつ会館 089-941-3939
  - 4 民宿みよし 089-977-2581



この地図の作成に当たっては、国土地理院の承諾を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28南策 第1132号)J



50 はんたじ 繁多寺

媛彦温泉

桑原八幡神社

畑寺公園

松山東雲女子大  
松山東雲短大



正門寺公園

桑原中学校

### 第51番 石手寺

●愛媛県松山市石手2-9-21  
☎089-977-0870  
●宿坊/なし



### 第52番 太山寺

●愛媛県松山市太山寺町1730  
☎089-978-0329  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 松山城

加藤嘉明が築城を開始した日本を代表する連立式天守を持つ平山城の一つ。日本では12ヶ所しか残っていない江戸時代以前に建造された天守や乾櫓など、21の建造物が国の重要文化財に指定。土・日曜と祝日の朝9時から、一ノ門前にて登城太鼓と天守開門セレモニーを開催。8合目まではロープウェイとリフトがある。

所 愛媛県松山市丸之内1  
☎ 089-921-4873 (松山城総合事務所)  
開 天守9:00~17:00 (30分前礼止め)、  
ロープウェイ8:30~17:30 (リフトは~17:00)  
※季節により異なる  
休 12月第3水曜(天守)  
入 天守入場料、ロープウェイ・リフト往復  
とも大人510円



#### 沿線の見どころ



#### 道後温泉本館

アルカリ性単純温泉で、約3000年の歴史を誇る日本最古の湯。平成26年(2014)に改築120周年を迎えた本館は、明治27年(1894)に建設された木造三層楼の公衆浴場で、国の重要文化財に指定されたことでも有名。浴室は神の湯と霊の湯の2つ。入浴コースに応じて休憩や湯茶のサービスあり。

所 愛媛県松山市道後湯之町5-6  
☎ 089-921-5141  
開 6:00~23:00  
(入浴コースにより異なる)  
休 無休(12月に1日のみ臨時休館あり)  
入 大人410円~



#### 境内の見どころ



#### 宝物館

1100余点あるという寺宝の中から、常時約100点を展示している。弘法大師を追いかけた衛門三郎が焼山寺で倒れた際、大師によって握られたとされる「衛門三郎再来」と書かれた小石もここに収蔵されている。出土品をはじめ、古文書、刀剣など、いずれも開基以来の歴史を物語る貴重な品ばかりだ。



国の重要文化財の三重塔が威容を誇る境内はお遍路さんで賑わう

### 第51番

# 熊野山 石手寺

くまのさん こくうぞういん いしてじ

## 香煙絶えぬ四国を代表する名刹

#### 歴史・全体像

聖武天皇の時代、神亀5年(728)に伊予大守越智玉純が霊夢を賜り、この地を浄域とし、12社権現を祀って勅願所とした。本尊の薬師如来は、翌年の天平元年(729)に行基が開眼、寺を創建した。当時は安養寺と名付けられ、法相宗に属していたが、弘仁4年(813)に弘法大師が来錫し、真言宗に改めた。石手寺と称するようになったのは寛平4年(892)から。改称にあたり、遍路の元祖といわれる衛門三郎の伝説が残っている。

平安時代の末には七堂伽藍を備えており、鎌倉時代の末期には河野氏らによって相次いで堂塔が再建された。現在の堂塔はいずれもこの時代のものである。

#### 境内

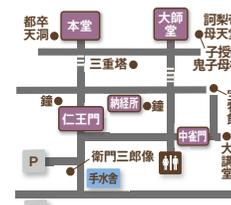
二層入母屋造り本瓦葺きの仁王門は、文保2年(1318)に河野通継が建造したもので、国宝に指定されている。仁王門の高さは7m、仁王像も2.5mと大きく、こちらは13世紀後半の作といわれている。

また、広い境内に建つほとんどの堂塔が文化財と、見どころ満載。鎌倉時代に建立された本堂と三重塔、元弘3年(1333)建立の鐘楼、「建長3年」(1251)の銘が刻まれた銅鐘、室町初期に建立された護摩堂、建久元年(1190)に建立された石造五輪塔は、いずれも国の重要文化財に指定されている。お遍路さんだけでなく、観光客も数多く訪れる名刹だ。

御詠歌/西方をよそとは見まじあん  
ようのてらにまいてうくる十らく  
本尊/薬師如来  
真言/おん ころころ せんだり ま  
うぎ そわか  
宗派/真言宗豊山派  
開基/行基菩薩



本堂前には大きな五輪が建つ



## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に





52 たいさんじ 太山寺

53 えんみょうじ 圓明寺



# 「四国遍路」巡礼マップ

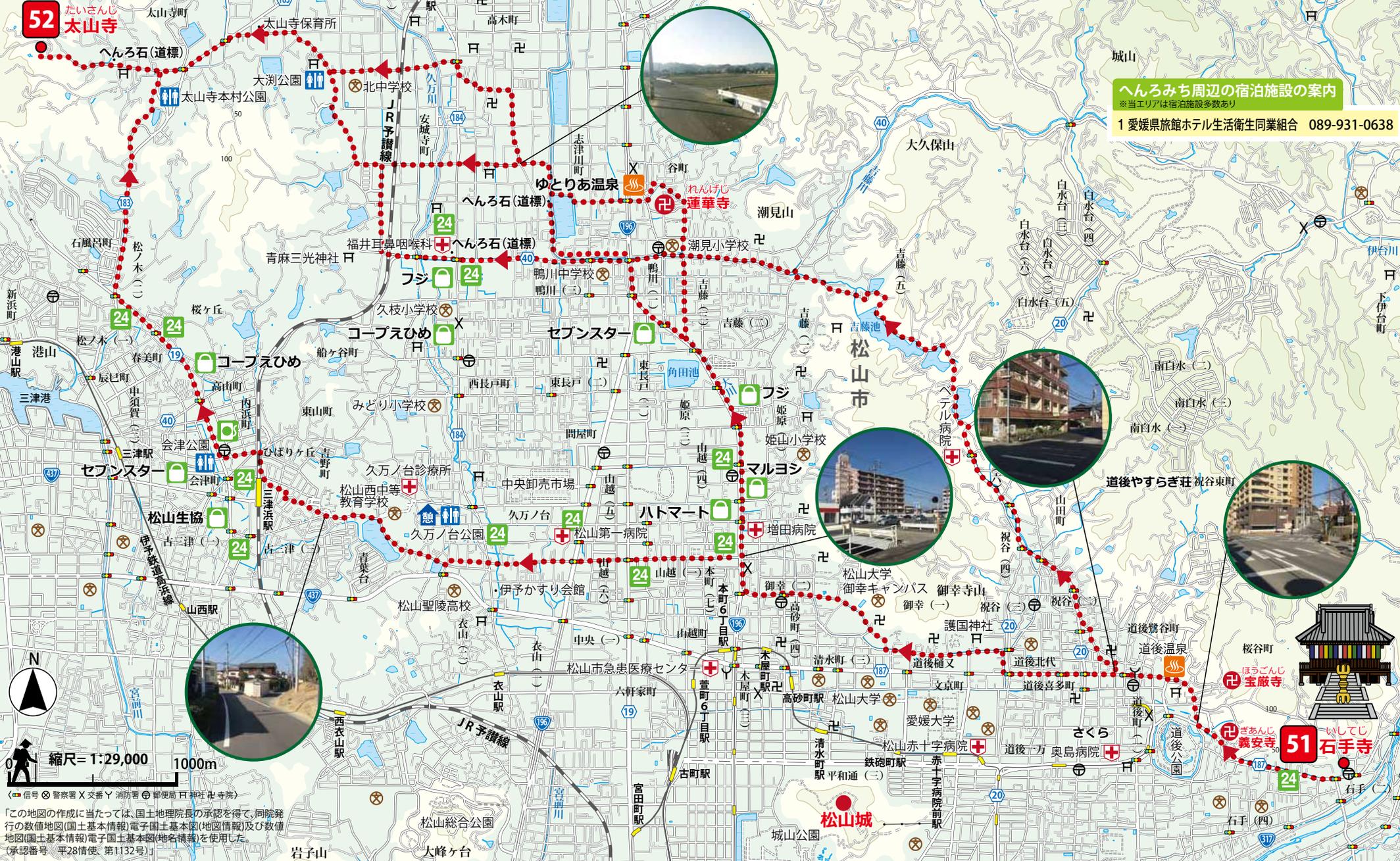
第51番 石手寺 ▶ 第52番 太山寺

11.2km ※赤い点線は遍路道の一例です

- 《凡例》
- 弘法大師 ゆかりの寺院
  - ゆかりの神社
  - ゆかりの場所
  - 宿泊施設
  - 遍路小屋
  - 休息所
  - 公衆トイレ
  - 医療機関
  - 道の駅
  - 温泉
  - 学校
  - ファミリーレストラン
  - コンビニエンスストア
  - 店舗・スーパー
  - コインランドリー

へんろみち周辺の宿泊施設の案内  
※当エリアは宿泊施設多数あり

1 愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合 089-931-0638



縮尺= 1:29,000 1000m

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使 第1132号)

### 第52番 太山寺

●愛媛県松山市太山寺町1730  
089-978-0329  
●宿坊/なし



### 第53番 圓明寺

●愛媛県松山市和気町1-182  
☎089-978-1129  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 権現温泉

古くから湯治場として愛されてきた温泉郷に、自然に囲まれてひっそりと佇む。大浴場や薬湯、ジェット風呂、泡風呂、サウナなどバラエティ豊かだ。春にはうぐいすをはじめとする鳥のさえずり、桜の開花、初夏には蛍の乱舞や木々の深緑がまぶしく、秋には紅葉など四季折々の自然も楽しめる。

愛媛県松山市権現町670  
円明寺から県道39号線経由、北東へ約3.5Km  
☎089-978-0334  
🕒10:00～23:00(礼止22:30)  
🍷第4本罎  
(祝日の場合は営業、代替日は事前告知)  
👤大人600円



#### 境内の見どころ



#### 聖徳太子堂

かつて伊予の国にきた聖徳太子は、この寺と縁を結んだ。境内の一角にある聖徳太子堂・夢殿には、法隆寺の夢殿にあるのと同じ聖徳太子像が祀られており、太子の聡明さにあやからうとお参りする人が多い。特に毎年成人の日に行われる太子祭りには、合格祈願に県内外から大勢の人が訪れる。



#### 境内の見どころ



#### 亀の石

昔の人が力比べに使った石の一つ。大中小の石があるというが、現在残っているのは「中」の石。村祭りの時に若者はこの石をどのくらい遠くまで運べるかで、力比べをしたという。また、大師堂そばに残る三重塔の礎石の一つを新しい亀の子たわしで洗うと、痔の痛みが和らぎ完治するといわれている。



坂道や石段は多いが、整備されており歩きやすい

### 第52番

# 瀧雲山 太山寺

りゅううんざん ごじいん たいざんじ

## 参道から境内まで見どころ多数

### 歴史・全体像

平安時代後期から歴代天皇の帰依を集めたといわれる太山寺の創建者は、豊後国の真野長者。用明2年(587)、長者が大坂に向かう途中、高浜沖で風雨に襲われた時、観音菩薩に祈って海難を逃れた。その御礼として自国で木組みした建材を運び、一夜で寺を建立したと伝えられている。

天平11年(739)には、聖武天皇の勅願により、行基が十一面観音を刻んで本尊として安置した。次いで、弘法大師が巡錫されたのは天長年間(824～834)のこと。それまでの法相宗から真言宗に改宗した。後に寺は荒廃の憂き目にあうが、嘉元3年(1305)、領主河野氏によって再建された。

### 境内

仁王門は三間一戸の八脚門で、金剛力士像が安置されている国の重要文化財。四国霊場の中では二番目に古いといわれる本堂は、嘉元3年(1305)に建てられた国宝。入母屋造り、本瓦葺きで重厚な屋根の広がり美しい。須弥壇に安置されている七体の十一面観音像は、代々の天皇が納めたもので国の重要文化財だ。本堂の左手奥にある真野長者堂は、太山寺の創建者とされる真野長者を祀っている。参道は風情があり、美しい景観が訪れる人々の目を楽しませてくれる。樹木に覆われた参道沿いの民家は、遍路宿の面影を残している。奥の院までの道はハイキングコースになっている。

御詠歌/たいざんへのぼれば汗のいでけれどこの世おもへばなんの苦もなし  
本尊/十一面観世音菩薩  
真言/おんまかきやろにぎやそわか  
宗派/真言宗智山派  
開基/真野長者



国宝に指定されている本堂



## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



# 「四国遍路」巡礼マップ

第52番 太山寺 ▶ 第53番 圓明寺



2.5km ※赤い点線は遍路道の一例です

## 《凡例》

- 弘法大師  
ゆかりの寺院
- 宿泊施設
- 公共トイレ
- ゆかりの神社
- 遍路小屋
- 医療機関
- ゆかりの場所
- 休息所
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

## へんろみち周辺の宿泊施設

1 民宿の上松 089-979-1500



52 たいさんじ 太山寺



53 えんみょうじ 圓明寺



縮尺=1:9,000  
 「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。  
 (承認番号 平28情使、第1132号)」

### 第53番 圓明寺

●愛媛県松山市和気町1-182  
☎089-978-1129  
●宿坊/なし



### 第54番 延命寺

●愛媛県今治市阿方甲636  
☎0898-22-5696  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 道の駅 風早の郷 風和里

週末ともなれば多くのツーリング客やドライブ客、夏場は海水浴客で賑わう海辺の道の駅。北条産の新鮮野菜や果物が並ぶ産直市の奥には、とれたての鮮魚コーナーが。手づくり弁当やお惣菜は、お昼には売り切れてしまうことがあるので、午前中がねらい目。夏場は販売店「モンテサント」のアイスクリームをぜひ。

☎ 愛媛県松山市大浦119  
☎ 089-911-7700  
☎ 8:30～18:00  
☎ 無休(レストランは第2・4木曜)



#### 境内の見どころ



#### 本堂の龍の彫り物

参道の中門の先正面に建つ本堂の中には、長さ4mはあろうかという巨大な龍の彫り物が、まるで本尊を守っているかのように施されている。今にも動き出しそうな躍動感に満ちた龍の彫刻は、一説には名工・左甚五郎の作といわれている。日頃の行いが悪い人がその姿を見ると、目が光って見えるそう。



#### 境内の見どころ



#### キリシタン灯籠

寛永年間(1624～1644)に建立された、高さ40cmほどの灯籠。山門を入ってすぐの左側にあり、一見したところはわかりにくい、その形状は十字架のようになっており、聖母マリアらしき女性の姿が刻まれている。キリシタン禁制であった江戸時代、寺では信者の礼拝を黙認していたと思われる。



民家が建ち並ぶ街なかでありながら、趣のある境内

### 第53番

# 須賀山 圓明寺

すがさん しょうちいん えんみょうじ

## 日本最古の納札とキリシタン灯籠

### 歴史・全体像

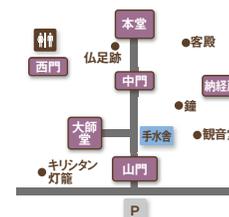
「和気の圓明さん」の愛称で親しまれている。開基は天平勝宝元年(749)、聖武天皇の勅願を受けた行基が、自ら阿弥陀如来を彫って安置したのが始まりといわれている。当時は西山という海岸にあり、弘法大師が巡錫して、四国霊場53番と定めるが、鎌倉時代には度重なる兵火によって焼失してしまう。この地に引越してきたのは、元和元年(1615)のこと。この地の豪族であった、須賀重久が伽藍を再興した。「四国仲遍路同行二人今月今日平人家次」と書かれた銅製の納札が、アメリカ人の教授によって発見されており、それは慶安3年(1650)のものといわれている。

### 境内

周囲に民家が立ち並ぶ市井の賑わいの中にある圓明寺。ご近所さんが気軽に参りに訪れるなど、その庶民的な雰囲気が、歩き疲れた遠来のお遍路さんたちの心をほっと和ませてくれる。愛媛県指定有形文化財に指定されている山門(八脚門)をくぐると、大師堂、中門、本堂、観音堂が整然と並んでいるのが見える。十一面観音像が安置されている観音堂は、断絶した国主・河野家の遺臣たちが関ヶ原の戦いに敗れた際、その追善供養のために建立したといわれている。境内の片隅には聖母マリアの像を彫ったキリシタン灯籠があり、キリシタン禁制の名残を今に残している。



美しい中門をくぐると真正面が本堂



御詠歌/らいごうのみだのひかりの  
圓明寺てりそぶかげはよなよな月  
本尊/阿弥陀如来  
真言/おん あみりた ていせい から  
うん  
宗派/真言宗智山派  
開基/行基菩薩



JAPAN HERITAGE  
日本遺産

## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



**「四国遍路」巡礼マップ**  
 第53番 圓明寺 ▶ 第54番 延命寺  
 34.4km ※赤い点線は通路道の一例です

- 【凡例】
- 弘法大師 ゆかりの寺院
  - ゆかりの神社
  - ゆかりの場所
  - 宿泊施設
  - 通路小屋
  - 休息所
  - 公共トイレ
  - 医療機関
  - 道の駅
  - 温泉
  - ファミリーレストラン
  - コンビニエンスストア
  - 店舗・スーパー
  - コインランドリー



**へんろみち周辺の宿泊施設の案内**  
 1 愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合 089-931-0638

縮尺=1:40,000 1000m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用しました。(承認番号 平28信使、第1132号)」

### 第54番 延命寺

●愛媛県今治市阿方甲636  
☎0898-22-5696  
●宿坊/なし



### 第55番 南光坊

●愛媛県今治市別宮町3-1  
☎0898-22-2916  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### みなと交流センター (はーぱりー)

2016年7月に、今治の賑わいの拠点として海の玄関口にオープン。建築家・原広司氏の設計による大きな船を模したデザインの建物は「港町・今治」を象徴している。「はーぱりー」の愛称で親しまれており、フェリー待合・発券所、FMラジオ放送局やレンタサイクルターミナル、飲食店などで構成され、イベントも多数開催。

☒ 愛媛県今治市片原町1-100-3  
南光坊から北東へ約1.2Km  
☎ 0898-22-4120(今治市港湾振興課)  
☒ 施設により異なる  
☒ 施設により異なる



#### 境内の見どころ



#### 越智孫兵衛供養塔

江戸時代の庄屋・越智孫兵衛は、農民たちを餓死から救った郷土のヒーローである。農民の生活向上に寄与し、享保の大飢饉の際には、一人の餓死者も出さなかったという。境内には、そんな彼の功績を偲ぶために、越智孫兵衛供養塔が建立されており、毎年8月7日には盛大に慰霊祭が行われている。



#### 境内の見どころ



#### 銘木つぶらじい

山門を入ってすぐ右手にあるつぶらじいは、今治市の指定保存樹。延命寺が兵火で焼失した後、享保12年(1727)にこの地に移転・再興された時に植えられたと伝えられている。樹齢はおよそ200年以上といわれており、目通り3m、高さ20余mにも及ぶ。風格のあるこの木は、近辺では珍しい銘木である。



境内には、元禄4年(1691)に没した真念法師の道しるべが残されている

### 第54番

# 近見山 延命寺

ちかみさん ほうしゅういん えんめいじ

## 行基により開かれたとされる古刹

### 歴史・全体像

奈良時代の天平年間(729~749)、行基が不動明王を刻み、今治市の西北にある近見山の頂に七堂伽藍を建立したのが始まり。平安時代になって、嵯峨天皇の勅願によって弘法大師が来錫。当時、かなり荒れていたという堂宇を再建した。そして、近見山円明寺と名付けて、信仰と学問の中心道場にした。その後、寺は幾度となく兵火を受けたため場所を移動。享保12年(1727)には現在の場所に移る。明治時代に入って延命寺に改称する。本堂は昭和3年(1928)に移転・新築された。文永5年(1268)には、この寺の西谷坊で華嚴宗の学僧・凝然が八宗要綱1200余巻を書き上げた。

### 境内

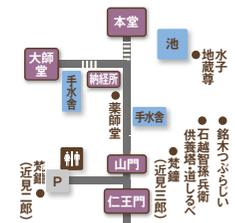
総樺造りの立派な佇まいがひととき目を引く山門は、今治城門の一つを譲り受けたもの。含霊堂(霊拝堂)には、明治初期より全国永代供養の霊碑が祀られており、往時の寺運を物語っている。室内には不動明王、十二諸尊西国三十三ヶ所の観音様、薬師如来坐像、阿弥陀如来像、びんずりさんが祀られているほか、古文書も収蔵されている。

また、境内には生国不明、元禄4年(1691)に四国巡礼中に没したとされる真念法師の道しるべ石や、宝永元年(1704)に住職が私財を投じて铸造した梵鐘・近見二郎、農民たちを飢餓から救った越智孫兵衛を偲ぶ供養塔が建てられている。

御詠歌/くもりなきがみのえとながむればのこさずかけをうつものかな  
本尊/不動明王  
真言/のうまくさんまんだばざらだん せん  
だまろしゃだそはたやうんたらたかんまん  
宗派/真言宗豊山派  
開基/行基菩薩



昭和3年(1928)移転・新築された本堂



## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に





「四国遍路」巡礼マップ  
 第54番 延命寺 ▶ 第55番 南光坊  
 3.4km ※赤い点線は遍路道の一例です

- 《凡例》
- 弘法大師 ゆかりの寺院
  - ゆかりの神社
  - ゆかりの場所
  - ファミリーレストラン
  - コンビニエンスストア
  - 宿泊施設
  - 遍路小屋
  - 休息所
  - 店舗・スーパー
  - コインランドリー
  - 公共トイレ
  - 医療機関
  - 道の駅
  - 温泉
  - 学校

縮尺= 1:12,000 500m

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。  
 (承認番号 平28情使、第1132号)

へんろみち周辺の宿泊施設

|   |                   |              |
|---|-------------------|--------------|
| 1 | しまなみゲストハウス「シクロの家」 | 0898-35-4496 |
| 2 | 今治アーバンホテル         | 0898-22-5311 |
| 3 | クラウンヒルズ今治         | 0898-23-0005 |
| 4 | ホテル福亭             | 0898-22-1285 |
| 5 | 今治ステーションホテル       | 0898-22-5340 |
| 6 | 今治第一ホテル           | 0898-22-1320 |
| 7 | 今治プラザホテル          | 0898-25-2500 |

### 第55番 南光坊

●愛媛県今治市別宮町3-1  
☎0898-22-2916  
●宿坊/なし



### 第56番 泰山寺

●愛媛県今治市小泉1-9-18  
☎0898-22-5959  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 今治城

築城の名手として有名な藤堂高虎が築いた海城で、日本三大海城の一つ。広大な内堀と高石垣がほぼ完全に残り、堀の水は現在でも海水。再建された天守や櫓は歴史資料館や郷土美術館などとして公開され、今治の歴史と文化に触れられる。天守最上階の展望台からは瀬戸内海の絶景が広がる。



#### 境内の見どころ



#### 菅笠

川村驥山(きざん)は、昭和25年(1950)に書道家として初めて、芸術院賞を受けた人物。昭和29年(1954)より娘を伴って遍路行へ。その時に被っていた菅笠が、納経所に保存されている。笠には金剛經の一節「應無所住而生其心」と書かれている。どこにもとどまらず自由自在であれという意味だそう。



#### 境内の見どころ



#### 高僧・天野快道の墓

金毘羅堂と薬師堂の間には、南光坊中興の祖・天野快道大僧正(1846~1923)の墓がある。天野快道は今治に伝わる「大楠と三匹の狸」という話にも登場する人物。姿を見せずに悪さをしていた狸の三姉妹がいたが、快道にだけは見え、話ができたという。「頭脳明晰で体格にも恵まれた傑物」であったといわれている。



広々とした境内にある松尾芭蕉の句碑は見どころの一つ

### 第55番

# 別宮山 南光坊 金剛院

べっくさん こんごういん なんこうぼう

## 有名書家の足跡が残る寺

### 歴史・全体像

かつては別宮大山祇神社と隣接しており、明治初年までは大山祇神社の別当寺であったという。

その縁起は今から約1300年前にさかのぼる。河野氏の始祖・越智玉輿の弟である玉澄は、文武天皇の勅願を受けて大三島の大山積明神を勧請。法楽所として大三島の24坊中8坊をこの地に移転し、「日本総鎮守三島地御前」と称し、奉祭した。

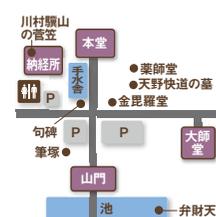
以後、別宮大山祇神社の別当寺として興隆してきたが、天正年間(1573~1592)、伊予の全土を襲った長宗我部氏の兵火によって焼失した。慶長5年(1600)、この南光坊だけは大山祇神社の別当寺として再建された。

### 境内

四国霊場のうち「坊」がつく寺院はこの南光坊だけ。今治市の中心部にあり、昭和20年(1945)の大空襲で大師堂と金毘羅堂以外の建造物は焼失した。現在の本堂は昭和56年(1981)に建てられたものである。金毘羅堂は、文化年間(1804~1818)建立の歴史のある建物。大正5年(1916)に再建された大師堂は、屋根の四隅が軽やかに跳ね上がり、その上にある相輪塔と相まって、荒波の中を走る船のような様相を呈している。平成10年(1998)に再建された立派な山門は四天王が守護している。この山門の形式は四国霊場の中ではこの寺だけである。



再築された本堂は山門の正面に佇む



御詠歌/このところ三島に夢のさめぬればべっくうともおなじすいじやく  
本尊/大通智勝如来  
真言/なむ だいとううちしょうぶつ  
宗派/真言宗御室派  
開基/行基菩薩

☎愛媛県今治市通町3-1-3  
南光坊から南東へ約1.5Km  
☎0898-31-9233  
🕒9:00~17:00  
📅12/29~12/31  
👤大人500円



## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に





**「四国遍路」巡礼マップ**  
 第55番 南光坊 ▶ 第56番 泰山寺  
 3.0km ※赤い点線は遍路道の一例です

- 《凡例》
- 弘法大師ゆかりの寺院
  - 宿泊施設
  - 公共トイレ
  - ゆかりの神社
  - 遍路小屋
  - 医療機関
  - ゆかりの場所
  - 休息所
  - 道の駅
  - ファミリーレストラン
  - 店舗・スーパー
  - 温泉
  - コンビニエンスストア
  - コインランドリー
  - 学校

縮尺= 1:12,000 500m

（信号機 警察署 X 交番 Y 消防署 郵便局 神社 寺院）

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)」

- へんろみち周辺の宿泊施設**
- 1 しまみゲストハウス「シクロの家」 0898-35-4496
  - 2 今治アーバンホテル 0898-22-5311
  - 3 クラウンヒルズ今治 0898-23-0005
  - 4 ホテル福亭 0898-22-1285
  - 5 今治ステーションホテル 0898-22-5340
  - 6 今治第一ホテル 0898-22-1320
  - 7 今治ブラザホテル 0898-25-2500

### 第56番 泰山寺

●愛媛県今治市小泉1-9-18  
☎0898-22-5959  
●宿坊/なし



### 第57番 栄福寺

●愛媛県今治市玉川町八幡甲200  
☎0898-55-2432  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 竹庭 清正乃湯

ナトリウム泉や炭酸水素塩泉など、効能豊かな湯が揃う温泉施設。広大な竹林の中に露天風呂が点在しており、散策気分で温泉を満喫しながら、旅の疲れを癒やすことができる。内湯や備長炭サウナのほか、家族やグループでのんびりと過ごせる温泉付きの貸別荘も完備している。

☎愛媛県今治市高橋甲1350-1  
泰山寺から南西へ約1.6Km  
☎0898-34-0034  
🕒13:00~24:00  
🏠無休  
💰1,000円(15歳未満は入場不可)



#### 境内の見どころ



#### 地藏車

六道輪廻を現した地藏車。石塔に輪があり、これを回すと六道輪廻の絆を断るといわれている。参拝者は、一回一徳を願って車輪を手前に回転させ、手を合わせて拜むのだそう。この車輪は人生の時計を意味しているといわれ、回り巡ってくる輪廻思想に基づいて名付けられたものだと伝えられている。



#### 境内の見どころ



#### 不忘松(忘れずの松)

大師堂のそばにあった不忘松は、弘法大師が一寺を建立した際に御手植えされたという松の木。一度枯れてしまい、今は古い切り株が残っている。この切り株は腰痛に霊験あらたかだといわれている。その横には子株として育てていた4株のうちの1株が植えられている。小さいながらも見事な枝ぶりだ



もとは金輪山の山頂にあった泰山寺

### 第56番

# 金輪山 泰山寺

きんりんさん ちよくおういん たいさんじ

## 川の氾濫を鎮めた弘法大師が建立

### 歴史・全体像

弘法大師がこの地を巡錫していた弘仁6年(815)、豪雨のために蒼社川が氾濫した。当時、この川は毎年のように氾濫しており、地元の人々は「人取川」と呼び、「氾濫は悪霊の祟りによっておこる」と恐れていた。そこで大師は村人たちを指導して堤防を建設。土砂加持の秘法を七座厳修された。その満願の日に延命地藏が空中に出現。大師は示現した地藏尊を刻んで本尊とし、一寺を建立した。寺名は『延命地藏經』十大願の第一「女人泰産」からとって、泰山寺と名付けられた。当初は山頂に位置していたという。

天長元年(824)には、淳和天皇の勅願所として七堂伽藍が完成した。

### 境内

のどかな田園地帯の高台に、石垣に囲まれて建つ泰山寺。山門はなく、細い路地から階段を上った境内には、本堂、納経所、宿坊が一列に並んでいる。秘仏である本尊の木彫地藏座像は、当地方屈指の巨像。

宿坊の前にある大師堂は、昭和60年(1985)に建立された比較的新しい建物。そばには金剛杖を持ち、菅笠をかぶった大師像がたち、訪れたお遍路さんを見守っている。鐘楼、通夜堂、納経所も趣のある佇まいだ。鐘楼は、明治14年(1881)、今治城内にあった太鼓楼の古材で再建されたといわれており、四国霊場と今治城の縁の深さが感じられる。



境内の左端にある本堂。目の前に地藏車がある



御詠歌/みな人のまいてやがて泰山寺来世の引導たのみおきつつ  
本尊/地藏菩薩  
真言/おん かかかひ さんまゐい そわか  
宗派/真言宗醍醐派  
開基/弘法大師



文化庁

JAPAN HERITAGE  
日本遺産

## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



# 「四国遍路」巡礼マップ

第56番 泰山寺 ▶ 第57番 栄福寺

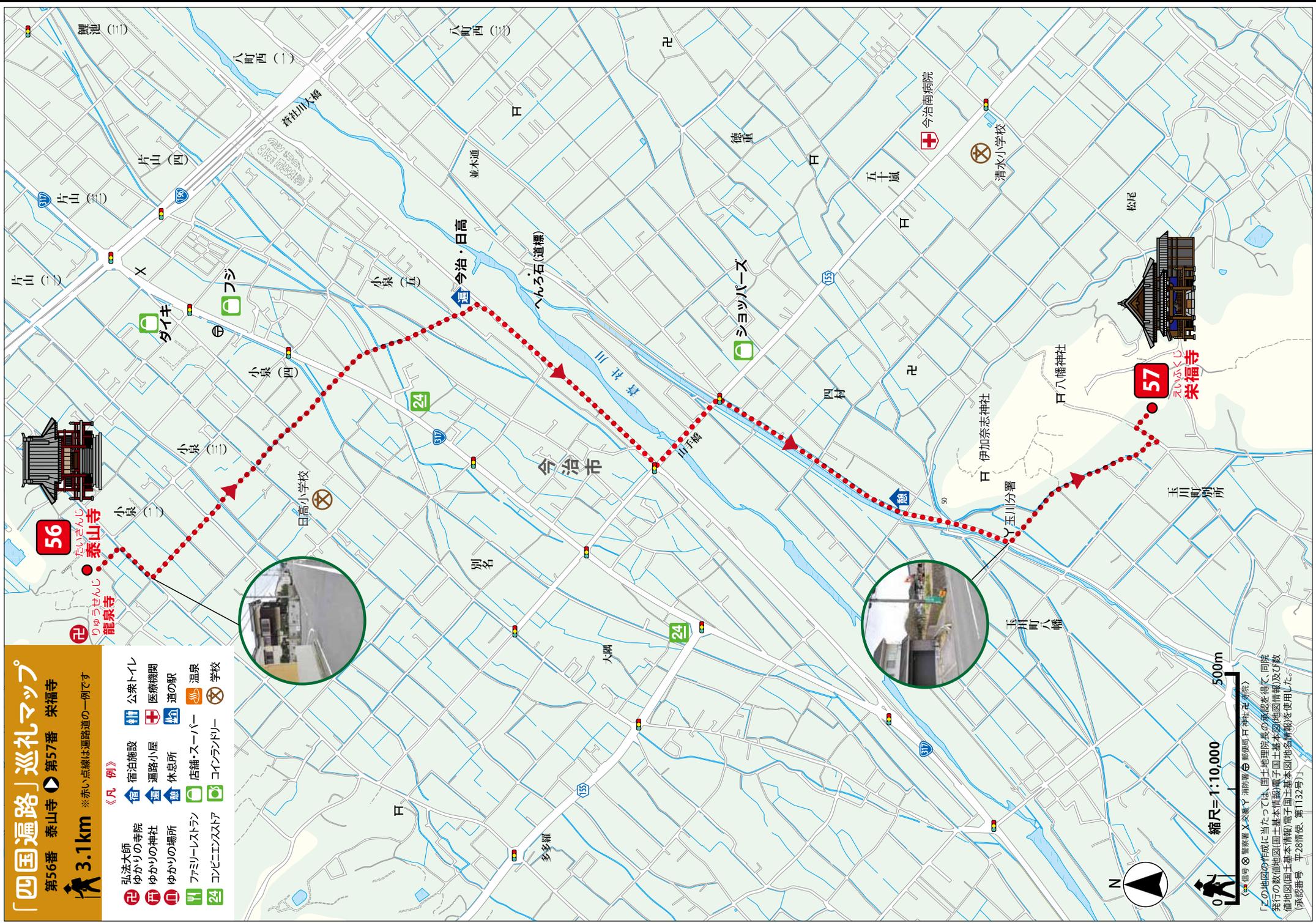
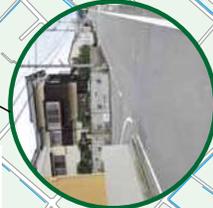


3.1km

※赤い点線は遍路道の一例です

## 《凡例》

- |              |            |         |
|--------------|------------|---------|
| Ⓜ 仏法大師       | 🏠 宿泊施設     | 🚶 公衆トイレ |
| 🏯 ゆかりの寺院     | 🏠 通路小屋     | 🏥 医療機関  |
| 🏯 ゆかりの神社     | 🏠 休息所      | 🚶 道の駅   |
| 🏠 ゆかりの場所     | 🏠 店舗・スーパー  | ♨️ 温泉   |
| 🏠 ファミリーレストラン | 🏠 コインランドリー |         |
| 🏠 コンビエンスストア  |            |         |



縮尺: 1:10,000  
500m

Ⓜ 信号 Ⓜ 警察署 Ⓜ 交番 Ⓜ 消防署 Ⓜ 郵便局 Ⓜ 神社 Ⓜ 寺 (※)

【この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の教団地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び教団地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。】  
(承認番号 平28情使、第1132号)

### 第57番 栄福寺

●愛媛県今治市玉川町八幡甲200  
☎0898-55-2432  
●宿坊／なし



### 第58番 仙遊寺

●愛媛県今治市玉川町別所甲483  
☎0898-55-2141  
●宿坊／あり(要予約)



#### 沿線の見どころ



#### 今治市玉川近代美術館

今治市(旧玉川町)出身の故徳生忠常氏が全資金を提供し「心温まる名画の美術館」として昭和61年に設立、ふるさとに寄贈した。明治以降の日本近代洋画の大家・黒田清輝、藤島武二や、近代美術史を彩る中村彝(つね)、郷土出身の野間仁根(ひとね)などのほか、海外作家のピカソ、ルオー、ユトリロらの作品を所蔵。

📍愛媛県今治市玉川町大野甲86-4  
栄福寺から西へ約3.8Km  
☎0898-55-2738  
🕒9:00～17:00  
🗓月曜(祝日の場合は原則翌日振替)、  
12/29～1/3  
🎫一般500円



#### 境内の見どころ



#### 大師堂の干支

大師堂はかつてこの寺が山頂にあった時の建物を移築したものの、建物の外回りにぐるりと施された十二支の干支の彫刻は、一見の価値あり。正面には玉をくわえた龍が、睨みつけるようにこちらを見ており、側面には虎などが彫られている。羊だけ姿が見えないが、実は隠し彫りされているという伝説がある。



#### 境内の見どころ



#### お願い地藏尊

境内の片隅に建つお願い地藏尊は、願いごとを叶えてくれるといわれている。ふっくらとしたかわいらしいお顔をしていますが、「見る度に表情が違う」と地元の人たちから信仰を集めている。また、栄福寺には江戸中期のお遍路さんの納経帳が残されており、四国遍路の貴重な資料として注目されている。



緑に抱かれ、石清水八幡宮への参道を背にして建つ本堂

### 第57番

# 府頭山 栄福寺

ふとうさん むりょうじゆいん えいふくじ

## 海の中から出現した御本尊

### 歴史・全体像

開基は弘法大師で、嵯峨天皇の勅願によって弘仁年間(810～824)に開かれた。周辺で海難事故が相次いでいることを知った大師は、府頭山の山頂で海神供養の護摩供を厳修。その満願の日に、海の中から阿弥陀如来が出現。この阿弥陀如来を本尊として堂宇を創建したという。

貞観元年(859)には、大安寺の行教上人が暴風雨に遭遇し、この地に漂着。府頭山が男山に似ていることに気づき、また阿弥陀如来が八幡大菩薩の本地仏であることに縁を感じて、境内に社殿を建立。神仏習合の八幡宮を創建した。その後、明治元年の神仏分離令によって寺は現在の地に移転した。

御詠歌／この世には弓矢を守る八幡  
なりらいせは人をすくみだぶつ  
本尊／阿弥陀如来  
真言／おん あみりた ていせい から  
うん  
宗派／高野山真言宗  
開基／弘法大師



本堂と廻廊で結ばれている大師堂

### 境内

駐車場から延びる参道の先には石清水八幡宮があり、本堂は八幡宮への参道を背にした場所に建っている。本堂には一寸法師、大師堂には十二支の彫刻が施されている。

古社の趣がある本堂の廻廊には、霊験によって難病が平癒した少年遍路が奉納したという箱車が置かれている。昭和8年(1933)、足が不自由なため箱車で四国巡礼していた少年が、この寺を訪れた際に不注意で転倒。しかしその時、それまで立たなかった足腰がすっかり治っていたことから、箱車を奉納してお遍路を続けたという。この話にあやかってか、足腰守りの寺としても知られ、病氣平癒の祈願をする人も多い。



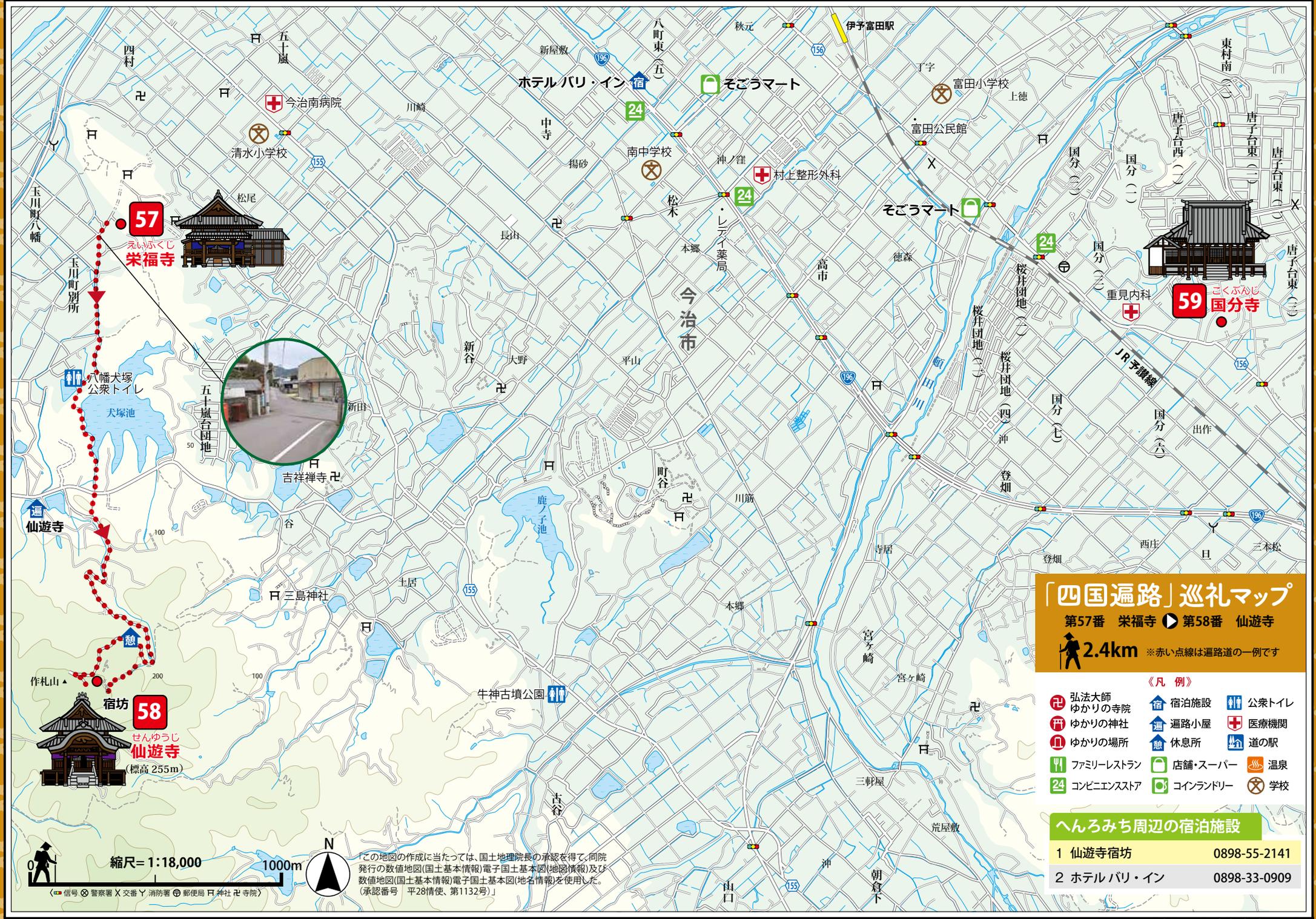
## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に





**「四国遍路」巡礼マップ**  
 第57番 栄福寺 ▶ 第58番 仙遊寺  
 2.4km ※赤い点線は遍路道の一例です

- 《凡例》
- 卍 弘法大師 ゆかりの寺院
  - 卍 宿泊施設
  - 卍 公衆トイレ
  - 卍 ゆかりの神社
  - 卍 遍路小屋
  - 卍 医療機関
  - 卍 ゆかりの場所
  - 卍 休息所
  - 卍 道の駅
  - 卍 ファミリーレストラン
  - 卍 店舗・スーパー
  - 卍 温泉
  - 24 コンビニエンスストア
  - 卍 コインランドリー
  - 卍 学校

**へんろみち周辺の宿泊施設**

|            |              |
|------------|--------------|
| 1 仙遊寺宿坊    | 0898-55-2141 |
| 2 ホテルバリ・イン | 0898-33-0909 |

縮尺 = 1:18,000

1000m

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)

◀ 信号 警察署 X 交番 Y 消防署 郵便局 卍 神社 卍 寺院

### 第58番 仙遊寺

●愛媛県今治市玉川町別所甲483  
☎0898-55-2141  
●宿坊/あり(要予約)



### 第59番 国分寺

●愛媛県今治市国分4-1-33  
☎0898-48-0533  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 伊予桜井漆器会館

約250年の歴史を持つ愛媛の伝統工芸、桜井漆器。伊予桜井漆器会館では、箸や小皿、弁当箱などの日用品から、ガラスに蒔絵を施したアート感覚の「花クリスタル」まで、幅広い商品が展示販売されている。製造工程を見学できるほか、併設の喫茶ルーム「花ぬり」ではカップやスプーンなど食器に漆器製品を取り入れている。

☒ 愛媛県今治市長沢甲340-1  
仙遊寺から南東へ10Km  
☎ 0898-48-0418  
🕒 10:00~18:00  
🔥 火曜(祝日の場合は翌日)



#### 境内の見どころ



#### 千体地藏

本堂脇に並ぶのは、昭和の中頃から数多くの人たちが願を掛けて設置してきたというお地藏様。大切な人の供養のためだったり、先祖供養のためだったり、その理由は様々だ。お地藏様は、一つひとつ表情や形が違っている。中央には、それらを見守るかのように弘法大師像が祀られている。



#### 境内の見どころ



#### 八十八ヶ所御砂踏

急な山道を上りきった境内の片隅には、修行大師像が祀られており、その周りを四国八十八ヶ所霊場の本尊の石仏がぐるりと取り囲んでいる。すべての霊場をまわれないという人も、このお砂踏でじっくりとお参りをすればご利益があるという。また、大師像や石仏の醸し出す風情も、幽玄の趣に満ちている。



四季折々の表情を見せる境内からは市街や瀬戸内海が一望できる

### 第58番

# 作礼山 仙遊寺

されいざん せんこういん せんゆうじ

## 仙人が遊んだという伝説が残る寺

### 歴史・全体像

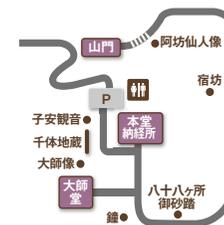
海拔約300mの作礼山(されいざん)の山上にあり、「おされさん」の愛称で親しまれている。天智天皇(626~672)の勅願により国主・越智守興が堂宇を建立。海からあがった竜女が彫り上げたという千手観世菩薩が本尊。竜女は竜登川を伝って作礼山にやってきたが、一刀刻むごとに三度礼拝していた。作礼山の名は、このエピソードに由来している。養老2年(718)までは、阿坊仙人が読経三昧の日々を送り、諸堂を整えた。平安時代には弘法大師が巡錫、荒廃した寺を再興して寺運を盛り上げた。明治時代には、宥蓮(ゆうれん)上人という高僧が山主となり信仰を集めたという。

### 境内

境内には、宥蓮上人を供養する五輪塔が建立されている。また、水神さんをお祀りした放生池のそばには真新しい山門があり、これは子息の菩提を弔うために、ある夫婦が建立したもの。昭和22年(1947)の山火事で全堂が灰になったが、本堂は昭和28年(1953)に再建された、二層屋根の堂々とした建物である。本堂裏にある西浄は、身体障害者用のトイレを備えた立派なもの。境内からは今治市街や瀬戸内海の多島美が一望できる。山門からの歩き参道は、シャクナゲや紅葉など、四季折々の自然が目を楽しませてくれる。裏山には西国三十三所の観音石仏が点在している。



焼失した本堂は昭和28年(1953)に再建



御詠歌/たちよりにてされいの堂にや  
すみつつ六字をとなえ経をよむべし  
本尊/千手観世音菩薩  
真言/おん ばざら たらま きりく  
宗派/高野山真言宗  
開基/越智守興

## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



**「四国遍路」巡礼マップ**  
 第58番 仙遊寺 ▶ 第59番 国分寺

**6.1km** ※赤い点線は遍路道の一例です

《凡例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 憩
- 店鋪・スーパー
- コインランドリー
- 公共トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

**へんろみち周辺の宿泊施設**

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1 仙遊寺宿坊    | 0898-55-2141 |
| 2 ホテルバリ・イン | 0898-33-0909 |

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)」

### 第59番 国分寺

●愛媛県今治市国分4-1-33  
☎0898-48-0533  
●宿坊/なし



### 第60番 横峰寺

●愛媛県西条市小松町石錠甲2253  
☎0897-59-0142  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 道の駅 今治湯ノ浦温泉

今治市の東の玄関口ともいえる場所に位置する情報拠点。休憩コーナー、レンタサイクル(9時~17時)などが利用できるほか、瀬戸内の新鮮な海の幸を使った料理などが味わえるフードコーナーも人気。地元の特産品が並ぶ物産コーナーや、全国でも珍しい、湯ノ浦温泉の源泉をセルフで購入することができる温泉スタンドもある。

☎ 愛媛県今治市長沢甲252-2  
☎ 0898-47-0990  
🕒 9:00~18:00(7・8月のみ8:30~18:30)  
🏠 無休



#### 境内の見どころ



#### 唐椿

境内には唐椿が植林されており、開花時期には艶やかな花でお遍路さんの心を和ませてくれる。菊にも似た大輪の花は、一見の価値あり。この花を見るために訪れる人もいる。また、創建当時の寺は現在の場所から東に100mほどのところにあった。「伊予国分寺塔跡」は国指定の史跡になっている。



#### 境内の見どころ



#### 握手修行大師

境内に入って右手にあるのは、等身大だといわれている握手修行大師像。左手に鉄鉢を持ち、右手で握手ができるようになっている。この大師像と握手をして祈願すると願いが叶うといわれ、多くの参拝者がこの大師像の手を握り、手を合わせている。ただし、一つしかお願いできないので注意。



創建当時は100m東にあり、その場所は国指定の史跡になっている

### 第59番

# 金山 最勝院 国分寺

こんこうざん さいしょういん こくぶんじ

## 幾度も復興を遂げた伊予の国分寺

### 歴史・全体像

伊予の国分寺は天平13年(741)に行基が開基。当時は、七堂伽藍を備えた壮大な大寺院だった。弘法大師は第三世住職智法立師の時代に来錫。長く留まって五大尊の絵像一幅を残した。また、大師十大弟子の一人で、かつて高岳親王であった真如も2年ほど滞在した。天慶2年(939)には藤原純友の乱で堂宇が焼失。国主の援助で再興したが、元暦元年(1184)の源平合戦で再び焼失する。貞治3年(1364)には讃岐の細川右馬頭頼之が侵入し、三度、寺は焼かれた。その後も焼失と復興を繰り返した。現在の本堂は、寛政元年(1789)に43代住職の恵光上人が金堂として建立した。

### 境内

風光明媚な唐子浜(からこはま)からほど近い、唐子山の麓に佇む寺。広々とした境内には石門を入れて正面に本堂、大師堂、毘沙門天、書院などが並んでいる。書院には、奈良時代から平安初期にかけての寺宝や文化財、旧国分寺からの出土品などが、貴重な歴史資料として保存されている。県指定の文化財であり、寺宝でもある国分寺文書3巻は南北朝時代のものである。弘法大師像、大般若経なども興味深い。この寺の後は60番の横峰寺へと続くが、地理的には61番の香園寺と63番の吉祥寺を打ち終えてから、60番へと回るのがよいだろう。



本堂は寛政元年(1789)に建立



御詠歌/しゅごのためたててあがむ  
国分寺いよいよめぐも薬師なりけり  
本尊/薬師如来  
真言/おん ころころ せんだり まとうぎ そわか  
宗派/真言律宗  
開基/行基菩薩



## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



### 第60番 横峰寺

●愛媛県西条市小松町石錠甲2253  
☎0897-59-0142  
●宿坊/なし



### 第61番 香園寺

●愛媛県西条市小松町南川甲19  
☎0898-72-3861  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 石錠ふれあいの里

名峰・石錠山の麓にある廃校を利用した宿泊施設。木造のケビン、キャンプ場、バーベキュー施設があり、夏は家族連れで賑わう。併設の食堂では日替わりの定食のほか、春には地元で採れた山菜料理、夏は流しそうめんなどが味わえる。食堂は11時から15時の営業、12月29日から2月末は休み。



#### 境内の見どころ



#### 仁王門

四国霊場で三番目の高地にある横峰寺。緑濃い木々に囲まれた本来の参道(遍路道)を行くと、堂々とした仁王門が現れる。元々、仁王像は寺から500mほど下った古坊という土地にあったものを現在の場所に移した。県内でも古い方に数えられる貴重なもので、造りも立派で見ごたえがある。



#### 境内の見どころ



#### 妻白大明神

寺に続く山道の途中には、横峰寺の氏神として開山以来、信仰をあつめている妻白大明神を祀った社がある。妻白大明神は豊作、商売繁盛、延命息災、家運隆昌など、諸願を叶えてくれるといわれる霊験あらたかな大明神。全国各地から多くの人々が訪れ、ご縁を結びたいと祈念している。



深山の趣あふれる境内は石楠花の名所としても知られる

### 第60番

# 石鉄山 横峰寺

いしづちさん ふくちいん よこみねじ

## 霊峰・石錠山の中腹にある霊場

### 歴史・全体像

西日本最高峰・石錠山(1982m)の山系中腹にある霊場。白雉2年(651)、星ヶ森(石錠山遥拝所)で修行中の役行者小角は、石錠山頂に蔵王権現の姿を見て、その姿を石楠花の木に刻んで小堂に安置した。

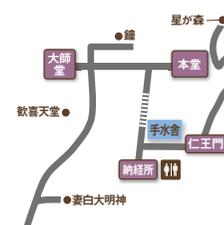
大同年間(806~810)には弘法大師も来錫。42歳の厄除け開運祈願のために石錠山へ上った。星ヶ森で星祭りの修行をしていたが、結願の日に役行者と同じく蔵王権現の姿を見た。そこで、大師は本尊として大日如来を刻んで安置。第60番に定められた。その後、明治元年の神仏分離令で、石錠山西遥拝所横峰社となるが、明治42年(1909)に横峰寺に戻った。

### 境内

標高約750mに位置する寺に至る道は、途中の平野からは有料道路になっている。山頂の駐車場までは、登山専用のマイクロバスも運行している。駐車場からは約500mの道のりを徒歩で下って10分ほど。狭い山道を歩いていると、いにしへの遍路行の苦勞が偲ばれる。境内の山際には石楠花が植えられており、花の名所としても名高い。5月には美しい花でお遍路さんの心をなごませている。本堂は神社風の権現造りで、どっしりとした風情と美しさを漂わせている。堂内には「神も仏も有り難いのは同じである」と説いた弘法大師の教義そのままに、左右大臣を祀っている。また、狛犬も一対ある。



境内には左右大臣や狛犬などもある



☎愛媛県西条市中奥1号25-1  
横峰寺から東へ13.4Km  
☎0897-59-0203  
🕒9:00~18:00  
📅12/29~1/3



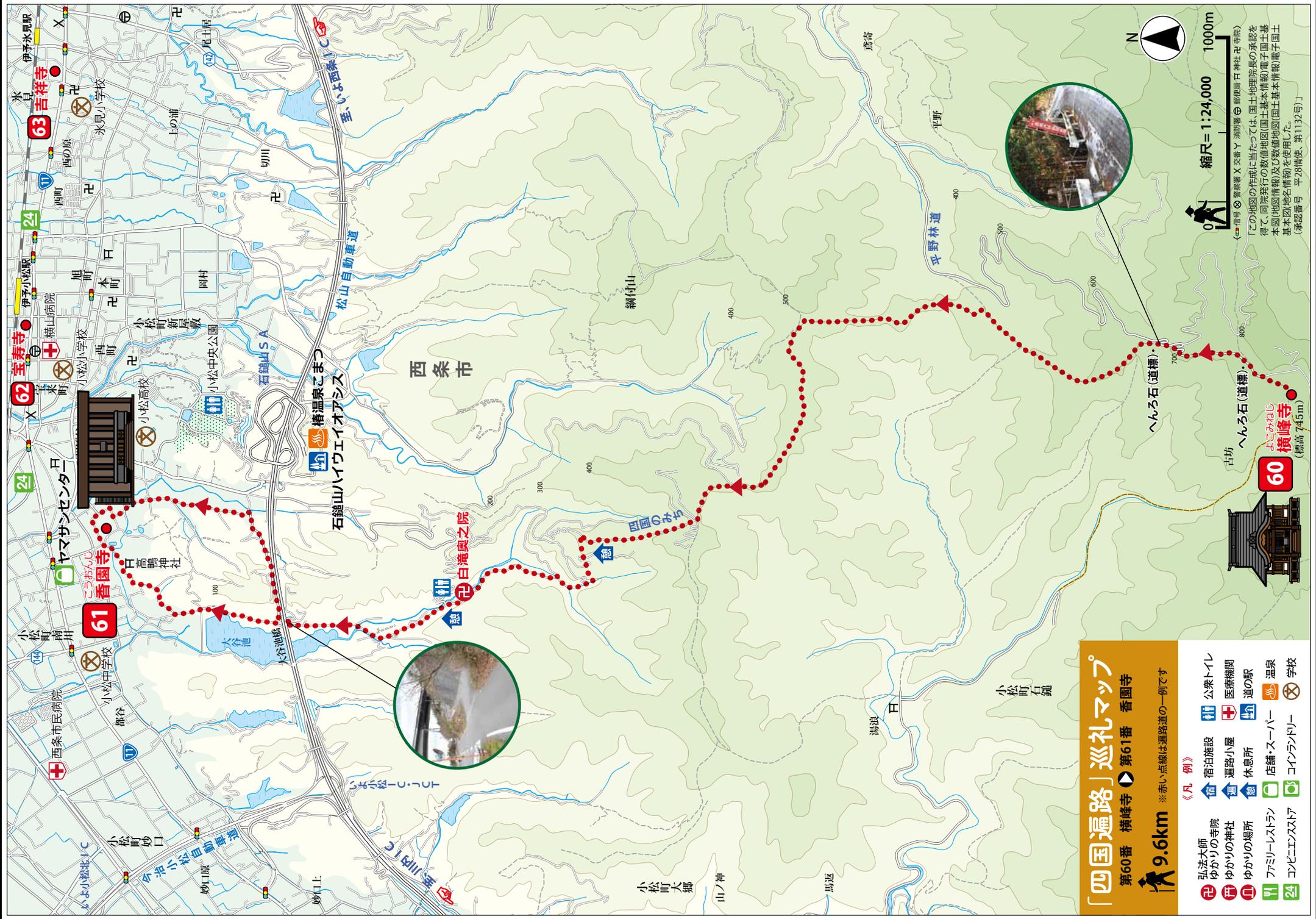
## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に





**「四国通路」巡礼マップ**  
 第60番 横峰寺 ▶ 第61番 香園寺

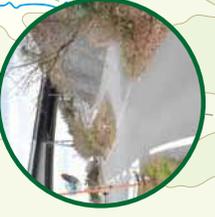
9.6km ※赤い点線は巡礼道の一例です

《凡例》

- |                |          |       |
|----------------|----------|-------|
| 私法大師<br>ゆかりの寺院 | 宿泊施設     | 公共トイレ |
| ゆかりの神社         | 通路小屋     | 医療機関  |
| ゆかりの場所         | 休息所      | 道の駅   |
| ファミリーレストラン     | 店舗・スーパー  | 温泉    |
| コンビニエンスストア     | コインランドリー | 学校    |



60 横峰寺  
 (標高 745m)



縮尺 = 1:24,000

この地図の作成に当たっては、国土地理院院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用しました。  
 (承認番号 平28情使 第1132号)

### 第61番 香園寺

●愛媛県西条市小松町南川甲19  
☎0898-72-3861  
●宿坊/なし



### 第62番 宝寿寺

●愛媛県西条市小松町新屋敷甲428  
☎0898-72-2210  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 湯の里 小町温泉 しこくや

第61番香園寺より車で10分足らずの温泉宿。露天風呂やジェットバス、サウナを備えた大浴場があり、日帰り利用もできる。天然温泉にゆったりと浸かりたい。宿泊は1名から可。隣接する「りんりんパーク」には、レストランや、美しい錦鯉や四季折々の花々に彩られた庭園がある。

☒ 愛媛県西条市小松町明穂甲47  
香園寺から西へ4.5Km  
☎ 0898-76-3388  
☎ 入浴10:00~22:00  
☎ 無休  
☎ 入浴のみ大人480円



#### 境内の見どころ



#### 本堂・大師堂

大聖堂は、本堂と大師堂を兼ねた鉄筋コンクリート造りの建物。1階が大講堂、2階が本堂と大師堂になっており、境内中央奥に本尊が祀られている。大聖堂は正面から本尊を拝むことができるほか、横の入り口から内陣に入ることもできる。本堂だけでも600余りの固定席があり、まるでコンサートホールのようなうた。



#### 境内の見どころ



#### 子安大師像

安産祈願所として知られる香園寺。門前で苦しんでいる身重の婦人を見つけた大師が、梅檀の香を焚いて加持祈禱をすると、婦人は元気な男子を無事に産出したという伝説が残っている。背中にゴザを背負い、右手に錫杖を持ち、左手に赤ちゃんを抱いた子安大師像は、子を想うやさしさに溢れている。



広々とした境内にはモダンな建物が並ぶ

### 第61番

# 梅檀山 香園寺

せんだんさん きょうおういん こうおんじ

## 聖徳太子ゆかりのモダンな寺

### 歴史・全体像

用明天皇(585~587)の病氣平癒を祈願して聖徳太子が創建したと伝えられている。この時、金衣白髪のお翁が飛来、本尊の大日如来を安置した。天平年間(729~749)には行基が、大同年間(806~810)には弘法大師が来錫。一時は七堂伽藍、6坊を備えていたが、長宗我部元親による天正の兵火で堂宇を焼失。大正2年(1913)に再建された。大正の初期には当時の住職・山岡瑞園師が子安講を創始。子安大師の四請願を旗印に、国内及び海外を行脚。全国に20万人の講員を獲得した。子安大師は、現在も多くの人から「子安の大師さん」と呼ばれ、信仰を集めている。

### 境内

小松町のはずれ、山の麓に約1万坪の敷地を誇る香園寺は、聖徳太子ゆかりの寺である。お遍路さんを迎えるのは、鉄筋コンクリート造りの大聖堂(本堂・大師堂)だ。モダンな建物で、1階は大講堂、2階に本堂と大師堂があり、設備も行き届いている。

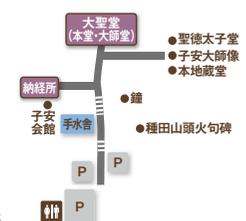
この寺をお詣りして子宝に恵まれたという夫婦から奉納された赤ん坊の写真が、寺の建物のいたるところに飾られている。その数は年間数千にも及ぶそうで、篤い信仰を集めていることを物語っている。

奉納された写真の数だけ、元気な赤ちゃんが誕生したと想像すると、微笑ましくなる。

御詠歌/のちのよを思へばまいれ香園寺とめてとまらぬしらたきの水本尊/大日如来  
真言/おん あびらうんけん ばざらだとばん  
宗派/真言宗御室派  
開基/聖徳太子



大聖堂に祀られている黄金色の大日如来



## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に

# 「四国遍路」巡礼マップ

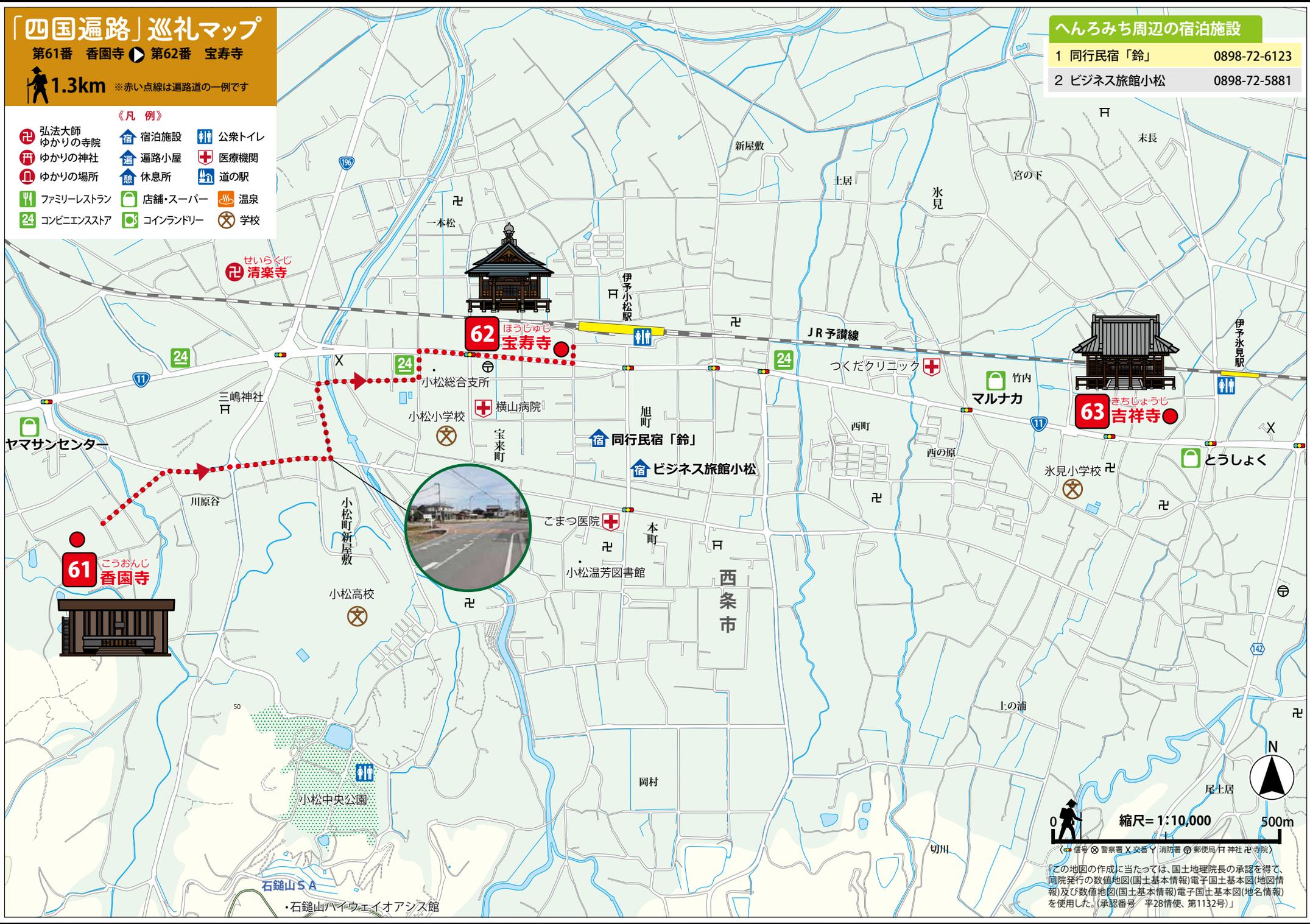
第61番 香園寺 ◀ 第62番 宝寿寺

1.3km ※赤い点線は遍路道の一例です

- 《凡例》
- 弘法大師 ゆかりの寺院
  - ゆかりの神社
  - ゆかりの場所
  - ファミリーレストラン
  - コンビニエンスストア
  - 宿泊施設
  - 遍路小屋
  - 休息所
  - 店舗・スーパー
  - コインランドリー
  - 公共トイレ
  - 医療機関
  - 道の駅
  - 温泉
  - 学校

## へんろみち周辺の宿泊施設

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1 同行民宿「鈴」  | 0898-72-6123 |
| 2 ビジネス旅館小松 | 0898-72-5881 |



縮尺 = 1:10,000 500m

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)

### 第62番 宝寿寺

●愛媛県西条市小松町新屋敷甲428  
☎0898-72-2210  
●宿坊/なし

### 第63番 吉祥寺

●愛媛県西条市水見乙1048  
☎0897-57-8863  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 石鎚山ハイウェイオアシス館

松山道石鎚山SAと国道11号のどちらからもアクセス可能。地域の旬の野菜や果物が揃う市場やお土産コーナー、レストラン、石鎚山の四季折々の写真を展示する写真美術館がある。隣接する「椿交流館(椿温泉こまつ)」は、自慢の天然温泉や地元料理を満喫できる癒やし処。展望デッキには足湯もあり、無料で利用できる。

〒愛媛県西条市小松町新屋敷乙22-29  
☎0898-76-3111  
🕒9:00~18:00  
(椿交流館10:00~22:00、礼止21:30)  
🚫無休(椿交流館は水曜(祝日の場合は営業))  
🎫入浴料大人400円



#### 境内の見どころ



#### 一宮稲荷

明治10年(1877)、四国遍路の行者・大石竜遍上人が寺の再興にあたり、京都の伏見稲荷、岡山の最上稲荷、愛知の豊川稲荷の三神を護法神として迎え、寺門の興隆、諸人の護世安楽を祈願して建立した。以来、多くの人々から信仰を集めている。参道に入って右側にあるので忘れずに参拝しよう。



#### 境内の見どころ



#### 安産観音像

弘法大師が留錫していた時、国司越智公夫人が難産で苦しんでいた。大師が境内の玉の井の霊水で加持されたところ、見事に玉のような男児が誕生したという。以来、本尊は安産の観音として篤い信仰を集めている。おだやかな顔をした安産観音像の周りには木が植えられており、やさしく枝を広げている。



参道の左側には趣のある石庭が見られる

### 第62番

# 天養山 宝寿寺

てんようざん かののんいん ほうじゅじ

## 国道沿いの賑わいの中に佇む寺

### 歴史・全体像

聖武天皇は天平年間(729~749)に大己貴尊の神託を受け、諸国に一の宮を建立した。宝寿寺は伊予国一の宮の法楽所として建立され、当初は金剛宝寺と称していた。大同年間(806~810)には弘法大師が来錫。光明皇后をかたどった十一面観音を刻んで本尊とし、四国霊場の第62番に定めた。当時は山手川・中山川の近くにあって、幾度となく河川の氾濫に遭い、破損・再建を繰り返す。天正13年(1585)に豊臣秀吉の四国征伐で壊滅された後、寛永13年(1636)に宥伝上人により再建されたが、明治の神仏分離令による廃仏毀釈で廃寺に。明治10年(1877)に再建された。

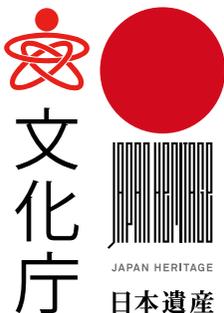
### 境内

大正10年(1921)にJR予讃線の開通にともなって、もともと境内があった場所から100mほど西に位置する現在地に移された。JR伊予小松駅からほど近く、国道11号沿いという賑わいの場所にあるが、境内はしっとりとした風情を漂わせている。門前には、「一国一宮別当宝寿寺」の石碑が建てられている。真念が建てたという道標も残されていたが、現在は愛媛県歴史文化博物館にて保管中。参道の正面にある建物は旧本堂で、正面右奥が本堂、右手前が大師堂となっている。なお、弘法大師が刻まれた十一面観音は秘仏のため拝観はできない。このほか、安産観音像や一宮稲荷などもある。

御詠歌/さみだれのあとにいでたる玉の井はしらつぼなるや一の宮かは本尊/十一面観世音菩薩  
真言/おん まか きやろにきや そわか  
宗派/高野山真言宗  
開基/聖武天皇



大師堂が本堂に。旧本堂は参道正面に



## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



# 「四国遍路」巡礼マップ

第62番 宝寿寺 ▶ 第63番 吉祥寺

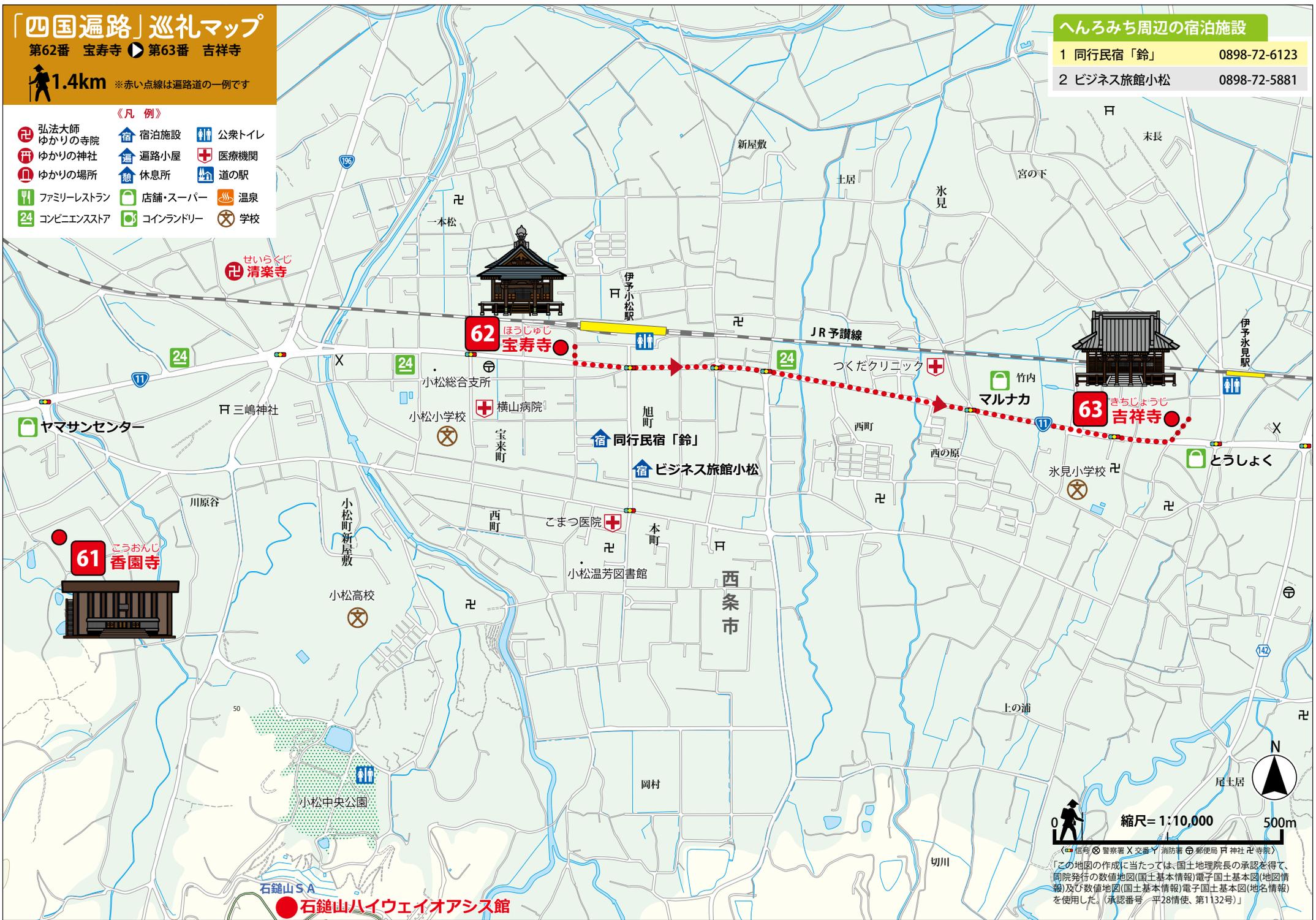
 1.4km ※赤い点線は遍路道の一例です

## 《凡例》

-  弘法大師 ゆかりの寺院
-  ゆかりの神社
-  ゆかりの場所
-  ファミリーレストラン
-  コンビニエンスストア
-  宿泊施設
-  遍路小屋
-  休息所
-  店舗・スーパー
-  コインランドリー
-  公衆トイレ
-  医療機関
-  道の駅
-  温泉
-  学校

## へんろみち周辺の宿泊施設

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1 同行民宿「鈴」  | 0898-72-6123 |
| 2 ビジネス旅館小松 | 0898-72-5881 |



縮尺 = 1:10,000 500m


  
 (☑ 信号 ☑ 警察署 X 交番 Y 消防署 ☑ 郵便局 卍 神社 卍 寺等)
   
 「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1132号)」

### 第63番 吉祥寺

●愛媛県西条市氷見乙1048  
☎0897-57-8863  
●宿坊/なし



### 第64番 前神寺

●愛媛県西条市洲之内甲1426  
☎0897-56-6995  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 湯之谷温泉

霊峰石鎚山の“ご縁”から始まった温泉。良質の源泉（療養泉）が湧き出る。宿泊は一般和室客室のほか、露天風呂付宿泊棟やゲストルームも新設。日帰り入浴、ランチカフェ、無料の足湯も楽しめる。泉質はナトリウム・塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉。伊予の三古湯の一つといわれている。

☎愛媛県西条市洲之内甲1193  
吉祥寺から東へ3.4Km  
☎0897-55-2135  
☎8:30～22:00  
●休 無休  
●入浴のみ大人400円



#### 沿線の見どころ



#### 石鎚神社

前神寺の西方に本社、石鎚山中腹に成就社と土小屋遥拝殿、標高1982mの山頂に頂上社があり、この4社を総称して石鎚神社という。弘法大師空海も修行したと言われ、山岳信仰の霊場として崇拜されてきた。7月1日～10日の夏季大祭では、御神像は頂上社に移され、多くの信者が登山参拝している。

☎愛媛県西条市西田甲797  
☎0897-55-4044



#### 境内の見どころ



#### くぐり吉祥天女

成就石のすぐ横にあるのは、本尊・毘沙聞天の妃である吉祥天の像。あらゆる貧困を取り除き、大富貴をもたらす仏様として篤い信仰を集めている。この像の下をくぐるとご利益があると伝えられており、「くぐり吉祥天女」の名で多くの人に親しまれている。優雅な立ち姿が印象的だ。



境内には「四国唯一毘沙聞天王鎮座」の門柱もある

### 第63番

# 密教山 吉祥寺

胎蔵院  
みつきょうざん たいぞういん きちじょうじ

## 四国霊場で唯一毘沙聞天が御本尊

### 歴史・全体像

四国霊場の中で唯一、毘沙聞天を本尊としている寺。門柱にも「四国唯一毘沙聞天王鎮座」と刻まれている。

弘仁年間(810～824)、弘法大師が坂元山山中(現在の寺の南東に位置する山)を通過していた時に、光を放っている檜を発見した。その木に一刀三礼して毘沙聞天と脇仏の吉祥天、善膩師童子を刻んだと伝えられている。弘法大師によって開かれた寺は、天正13年(1585)に豊臣秀吉の四国征伐による兵火で全山を焼失してしまう。

万治2年(1659)には、末寺の檜木寺と合わせて、現在の場所に移され再興した。

御詠歌/身の中の悪しき悲報をうちすててみな吉祥をのぞみのれよ本尊/毘沙聞天  
真言/おん べい しらまんだや そわか  
宗派/真言宗東寺派  
開基/弘法大師



歴史を感じさせる流麗な造りの本堂

### 境内

まるで城門を思わせる立派な造りの山門を入ると、正面が本堂。大師堂はその左側にあり、いずれも素朴ながら歴史を感じさせる建物だ。境内はこぢんまりとしており、ひと目で全体が見渡せる。この寺には秘仏のマリア観音(非公開)という珍しい観音像が保管されている。これはキリストを従えたマリア様の高麗焼の純白像で、高さは30cmほど。長宗我部元親がイスパニア船の船長から貰い受けたものといわれている。また、山門から入って右手にある八角堂には、本尊の毘沙聞天を除く七福神のうちの六福神が祀られているので、こちらにもお参りしておきたい。



## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



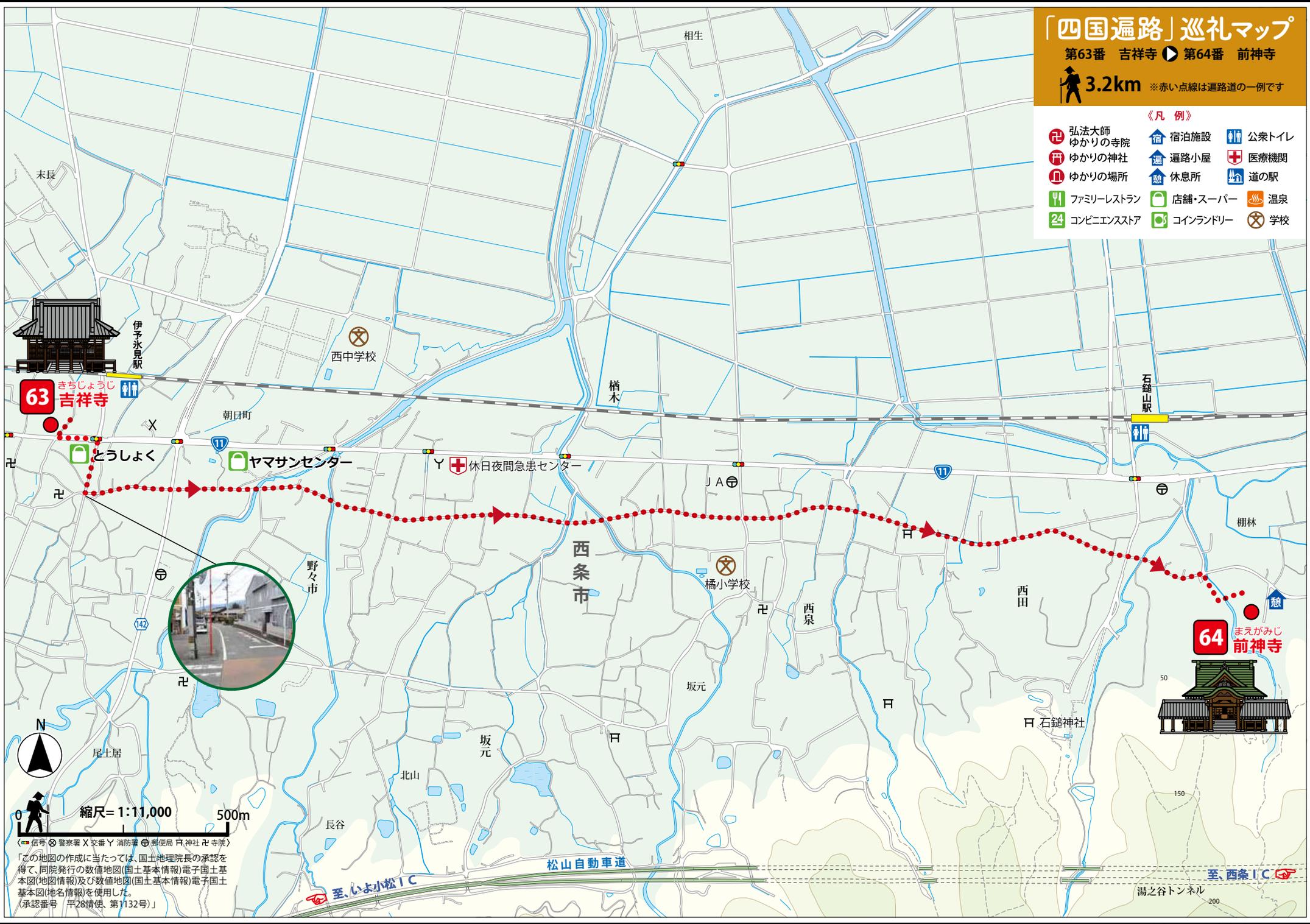
# 「四国遍路」巡礼マップ

第63番 吉祥寺 ▶ 第64番 前神寺

 3.2km ※赤い点線は遍路道の一例です

## 《凡例》

-  弘法大師
-  ゆかりの寺院
-  ゆかりの神社
-  ゆかりの場所
-  ファミリーレストラン
-  コンビニエンスストア
-  宿泊施設
-  遍路小屋
-  休憩所
-  店舗・スーパー
-  コインランドリー
-  公衆トイレ
-  医療機関
-  道の駅
-  温泉
-  学校



◻ 信号 ◻ 警察署 X 交番 Y 消防署 郵便局 戸 神社 卍 寺院  
 「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。  
 (承認番号 平28情使、第1132号)」

### 第64番 前神寺

●愛媛県西条市洲之内甲1426  
☎0897-56-6995  
●宿坊/なし



### 第65番 三角寺

●愛媛県四国中央市金田町三角寺甲75  
☎0896-56-3065  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### マイントピア別子

鉱山の町として栄えた新居浜市・別子地区の歴史を学び、体感できるテーマパーク。産業遺産が点在し、“東洋のマチュピチュ”と呼ばれ人気を集めている「東平(とうなる)ゾーン」や鉱山観光をはじめとする体験型施設やレストランなどを擁する「端出場ゾーン」があり、大人子どもとも一日中楽しめる。

所 愛媛県新居浜市立川町707-3  
☎ 0897-43-1801  
施設により異なる  
休 無休(2月に1週間程度の休みあり)  
入 入館無料、鉱山観光大人1,200円



#### 沿線の見どころ



#### 四国鉄道文化館

JR伊予西条駅のそばに佇む。館内では、初代0系新幹線の先頭車両や準鉄道記念物に指定されているDF50型ディーゼル機関車1号機など貴重な鉄道車両6両や、昔懐かしの鉄道グッズを展示。また、予讃線を走る列車や、駅の構内に残る大正時代に建てられた給水塔を望むことができる。

所 愛媛県西条市大町798-1  
☎ 0897-47-3855(十河信二記念館)  
施 9:00~18:00(入館は17:30まで)  
休 水曜(祝日の場合は翌日)  
入 あり(50台)



#### 境内の見どころ



#### 御滝不動尊

大師堂から本堂へと向かう参道の途中、石段の右側にあるのが、御滝不動尊だ。かつてはここで滝打修行が行われていたそうだが、現在の水量はごくわずか。たくさんの1円玉が張り付いているが、これは1円玉を投げ入れて、見事にくっつくと、ご利益があるといわれているため、多くの人が運試しを行っている。



小高い丘に位置する前神寺は、春になると桜の花が咲き乱れる

### 第64番

# 石鉄山 前神寺

いしづちさん こんきさいん まえがみじ

## 霊峰に抱かれて静かに佇む寺

### 歴史・全体像

奈良時代の初期に役行者小角が開基したと伝えられている。もとは常住(成就)にあり、石鉄大権現が祀られていたことから、桓武天皇(781~806)が病氣平癒を祈願。見事に成就したため、七堂伽藍を建立して金色院前神寺と称し、勅願所とした。弘法大師は2度も石鉄山に登山し、求聞持法を修した。文徳天皇をはじめ歴代天皇が帰依したことで知られる。中世には領主河野氏、江戸時代には西条藩主松平氏らが信仰。松平氏は東照宮を祀り、三葉葵の寺紋を許した。石鉄山の別当寺を務めたが、明治の神仏分離で寺は廃寺に。その後、明治11年(1878)に現在地に移され、再興された。

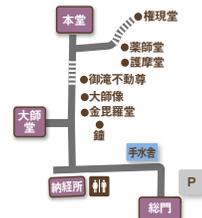
### 境内

境内には古い灯籠が何基もあり、老木とともに寺の歴史を物語る。参道には鬱蒼と杉木立が生い茂り、深山幽谷の趣。桜の時期には周辺がピンクに染まる。参道奥にある本堂は、昭和47年(1972)に再建された。入母屋造り、青い銅板屋根の美しい建物である。本尊は阿弥陀如来。大師堂は方形造りの建物。このほかに境内には蔵王大権現の社である権現堂、金毘羅堂、薬師堂、護摩堂などもあり、見ごたえたっぷりだ。

毎年7月1日~10日(1日のみ女人禁制)の「お山開き」には、白装束を身にまとった信者たちが集まる。石鉄山の山頂近くには奥の院・奥前神寺がある。



青い銅板屋根の本堂は昭和47年再建



御詠歌/前は神うしろは仏ごらくのよろづの罪をくだくいしづち本尊/阿弥陀如来  
真言/おん あみりた ていせい からうん  
宗派/真言宗石鉄派  
開基/役行者小角



## 日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に





### 第65番 三角寺

●愛媛県四国中央市金田町三角寺甲75  
☎0896-56-3065  
●宿坊/なし



### 第66番 雲辺寺

●徳島県三好市池田町白地ノロウチ763-2  
☎0883-74-0066  
●宿坊/なし



#### 沿線の見どころ



#### 椿堂 常福寺

弘法大師の杖立て伝説にまつわる大きな椿の木が茂る寺院。三角寺で修行した弘法大師がこの地の地藏堂へ立ち寄った際、熱病に苦しむ村人のために椿の杖を土にさし、病魔を土へ封じ込めた。後にこの椿が芽を吹いて成長したことから「椿堂」と呼ばれるようになったという。現在は近くにあった常福寺と合併。

所 愛媛県四国中央市川滝町下山1894  
☎ 0896-56-4523  
🕒 7:00～17:00(納経時間)



#### 境内の見どころ



#### 小林一茶ゆかりの山桜

寛永7年(1795)、この寺を訪れた小林一茶があまりの美しさに感嘆して「これでこそ登りかひあり山桜」と詠んだといわれる山桜は、鐘楼門をくぐった左奥にある。樹齢は300～400年にもなるといわれ、春は桜花を見に訪れる人も多い。大きく広がった枝は、何ヶ所も棒で支えられている。

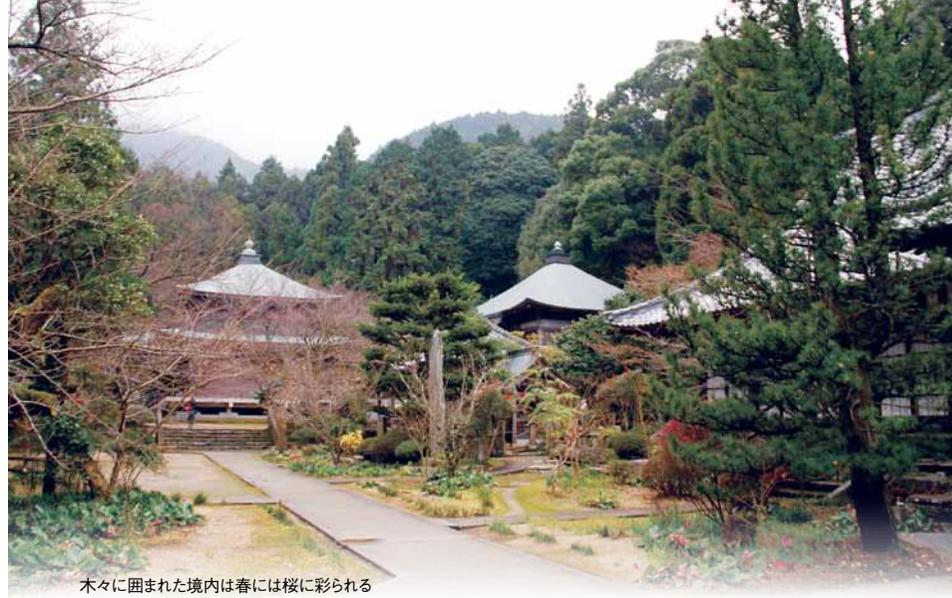


#### 境内の見どころ



#### 三角の池

薬師堂に向かって右側にある三角の池。弘法大師は、この寺で21日間の秘法を修めたとされ、その時の三角形の護摩壇の跡が三角の池になったといわれている。寺名もこの護摩壇が三角形であったことに由来している。周囲十数mの池の中には三角形の島があり、七福神の唯一の女神・弁財天が祀られている。



木々に囲まれた境内は春には桜に彩られる

### 第65番

# 由霊山 三角寺

ゆれいざん じそんいん さんかくじ

## 伊予の関所寺は子授け祈願で人気

### 歴史・全体像

天平年間(729～749)、聖武天皇の勅願により、弥勒菩薩の浄土を現して行基が開基した。本尊の十一面観音は、弘法大師が弘仁6年(815)に巡錫した際に安置した。同時に不動明王像も刻まれ、護摩壇を作り降伏護摩の法を修めたという。

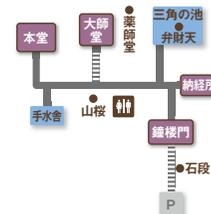
後に嵯峨天皇(在位809～823)が寺領三百町歩を下賜し、七堂伽藍が建立されるなど寺運は大いに栄えた。しかし、天正年間(1573～1592)になって、兵火のために堂宇を焼失。現在の本堂は、嘉永2年(1849)に再建されたものだ。また、子授け祈願の寺としても知られ、多くの人が訪れている。

### 境内

72段の石段を上って寺の入り口へ。伊予最後の霊場は標高約430m、平石山の中腹にある静かな寺だ。本堂には「安産御腹帯授与所」の札がかかっており、これは本尊の十一面観音が安産、子育て、厄除けの仏様であることから、特に妊娠中の女性やその家族のお参りが多く、ご祈禱をうけた腹帯とお守りを授かることができる。このほか、足腰健康やばけ封じとしても信仰されている。なお、檜材を使った一木造りの本尊・十一面観音は、平安前期の作と推定されている。大師堂は本堂からさらに上の高台にある。いずれも緑に囲まれて、風情のある眺めである。



安産を祈願し腹帯とお守りを受け取る



御詠歌/おそろしや三つのかども  
いるならば心をまろく慈悲をねんげよ  
本尊/十一面観世音菩薩  
真言/おん まか きやろにきゃ そわか  
宗派/高野山真言宗  
開基/行基菩薩

## 日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



